

ProCeed病院用ベッド

操作/保守マニュアル

REF	8500-000-000
REF	8500-000-100
REF	8500-000-200
REF	8500-000-300
REF	8500-000-400
REF	8500-000-500
REF	8500-000-600
REF	8500-000-700
REF	8500-000-800

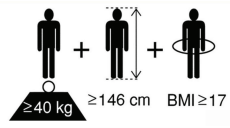
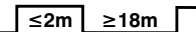


汎用記号用語集

記号の定義については、ifu.stryker.comの汎用記号用語集を参照してください。

記号

	取扱説明書/小冊子を参照
	取扱説明書参照
	一般的な警告
	注意
	警告：手を挟む危険性
	警告：足を挟む危険性
	申告が必要な物質を含まない場合の中国版RoHS
	カタログ番号
	シリアル番号
	欧州医療機器
	CEマーク
	英国適合性評価マーク
	輸入者
	欧州共同体の正規代理店
	スイスの正規代理店
	機器固有識別子

	数量
	製造業者 (YYYY-MM-DDは製造日を示します)
	製造日
	安全使用荷重
	機器の質量
	最大患者体重
	成人患者
	交流
	直流
	本製品のデューティサイクル
	本製品には、等電位導体の接続端子が付いています。等電位導体は、本製品と電気設備の等電位化母線とを直接接続するものです。
	保護接地
IPX6	高圧の噴流水に対する保護
	B形装着部
	欧州連合のバッテリーおよび廃棄物バッテリー規則 (EU) 2023/1542に従い、バッテリーの個別回収が必要であることを示します。この記号には、使用するバッテリー材料の略称が付記されている場合があります。
	この記号は、廃電気電子機器 (WEEE) に関する欧州指令2012/19/EUの改正に従って、リサイクルのため本製品を分別回収しなければならないことを示しています。未分類の一般廃棄物として廃棄しないでください。廃棄に関する情報についてはお近くの代理店にお問い合わせください。汚染された機器は、リサイクルする前に必ず除染してください。
	欧州連合のバッテリーおよび廃棄物バッテリー規則 (EU) 2023/1542に従い、バッテリーの個別回収が必要であることを示します。この記号には、使用するバッテリー材料の略称が付記されている場合があります。 Pb = バッテリーに重量が0.004%を超える鉛が含まれる
	リサイクル記号

目次

警告/注意/注記の定義	2
安全に関する注意事項の概要	2
ピンチポイント	5
はじめに	6
製品説明	6
使用目的	6
適応	6
対象使用者	6
臨床的有用性	7
禁忌	7
予想耐用年数	7
廃棄/リサイクル	7
仕様	7
欧州バッテリー仕様	9
欧州REACH - ProCeed	9
製品図示	12
装着部品	13
連絡先	13
シリアル番号の位置	14
セットアップ	15
動作時	16
バッテリーケーブルのプラグを差し込む、または抜く	16
本製品の電源プラグを差し込む、または抜く	17
バッテリーの充電	17
バッテリーを長期間保管する	18
本製品を移動する	18
ブレーキをかける、または解除する	19
Steer-Lockをかける、または解除する	19
第5輪をかける、または解除する（オプション）	21
CPRリリースハンドルを有効にする	21
ヘッドボードを取り外す、または交換する	22
フットボードを取り外す、または交換する	23
下脚部を昇降させる	24
サイドレールを昇降させる	24
尿バッグ用フックに尿バッグを固定する	25
介助者コントロールパネル、外側サイドレール	25
患者コントロールパネル、内側サイドレール	27
患者用コントロールペンダント（オプション）	28
ナース用コントロールペンダント	29
ベッド延長器を延ばす、または格納する	31
ベッド延長器用サポートサーフェイスの取り付け	32
リネントレーを延ばす、または格納する（オプション）	33
X線力セットホルダーに力セットを挿入する、または取り出す（オプション）	33
付属品と部品	34
点滴ポール（オプション）の取り付け	34
リフトポールの着脱	35
リフトポールのハンドルを取り付ける	37
酸素ボンベホルダーを取り付ける	37
尿バッグ用バスケットの取り付け	38
洗浄	39
製品清掃の準備を行う	39
クリーニング	39
サイドレールを清掃する	40
消毒	41
予防保守	42
EMCに関する情報	43

警告/注意/注記の定義

警告、注意、および注記は特別な意味を持つため、慎重に確認してください。

警告

回避しなければ死亡や重大な人身事故につながり得る状況について、読む人に注意をうながします。また重篤な有害作用の可能性および安全上の問題についても記述することがあります。

注意

回避しなければ操作者や患者に対する軽度ないし中等度の負傷、または製品や他の物品の損傷につながり得る状況について、注意をうながします。これには、装置の安全かつ有効な使用に必要な特別な注意や、使用や誤用の結果起こりうる装置への損傷を防ぐために必要な注意が含まれます。

注記 - 特別な情報を提供し、保守を容易にしたり、重要な説明をより分かり易くしたりします。

安全に関する注意事項の概要

必ず本ページに記載されている警告と注意を読んで厳守してください。保守は有資格者のみが行ってください。

警告

- 患者が挟まれるリスクを回避するため、必ず本製品フレームとの適合性が確認されているStryker承認のサポートサーフェイスを使用してください。
- 製品の機能損傷を防ぐため、必ず製品が室温になってから、設定や機能操作テストを行うようにしてください。
- 使用が操作者や患者の怪我を引き起こす場合は、本製品を使用しないでください。
- 本製品に安全作業荷重である260 kg以上の負荷を掛けないでください。
- すべての操作者が構造から離れるまで、製品の操作を行わないでください。
- 感電のリスクを回避するために、本製品は必ず保護接地付き電源に接続してください。
- 絡まり、電源コードの損傷、または潜在的な感電のリスクを回避するために、電源コードは常に保管してください。電源コードが損傷してしまった場合は、製品の使用を中止し、適切なメンテナンス担当者に連絡してください。
- 本製品の下に物を置かないでください。
- バッテリー、ケーブル、またはコードの過熱を検出した場合は、必ず電源コードプラグを壁コンセントから抜いてください。保守担当者が検査とサービスを行い、目的通りの動作が確認されるまで、本製品を使用しないでください。
- 予想耐用期間を超えたバッテリーは必ず交換してください。
- バッテリーに液体をこぼしたり、バッテリーを液体に漬けないでください。
- 製品を長期間にわたり保管する前に、必ずバッテリーからバッテリーケーブルを取り外してください。
- 患者を移動するときは、必ずスリープサーフェイスが水平の状態でサイドレールを最高ポジションにロックしてください。
- 四肢、手、指、その他の体の部分が、構造や隙間に入らないように常に気をつけてください。
- 本製品の付近に障害物がないことを常に確認してください。障害物にぶつかった場合、患者、介助者、居合わせた人に対する人身事故や、フレームまたは周囲の機器の損傷を招くことがあります。
- 本製品を横方向に移動させないでください。本製品の転倒を招くことがあります。
- サイドレールは、押し引きする道具として使用しないでください。本製品を移動させるときは、必ずヘッドボードとフットボードを使用してください。
- リフトポールを押し下ろしたり引いたりするための道具として使用しないでください。
- 酸素ボンベホルダーは、押し引きする道具として使用しないでください。
- 点滴ポールは、押し引きする道具として使用しないでください。
- 患者が本製品に乗り降りする際は、バランスを崩すことがないように必ずブレーキをかけてください。
- 患者に付き添いがいないときは、必ずブレーキをかけてください。
- 本製品が動いている間は、減速または停止のためにブレーキをかけないでください。
- 本製品を移動する前には、必ず電源コードを壁コンセントから抜いてください。
- ブレーキは、本製品を移動する前に必ず解除してください。ブレーキをかけたまま本製品を移動しないでください。

- CPRリリースハンドルを有効にする前に、背もたれの下と周囲に人や機器がないことを必ず確認してください。CPRリリースハンドルは緊急時のみに使用します。
- ヘッドボードを交換する際は、必ずヘッドボードを目的の位置に合わせて、挟まれないようにしてください。
- フットボードを交換する際は、必ずフットボードを目的の位置に合わせて、挟まれないようにしてください。
- 下脚部を下げる前に、レッグレストの下または周囲に人や物がないことを必ず確認してください。
- 患者に付き添いのないときは、必ず本製品が最低高さのポジションにあることを確認してください。
- サイドレールポジションは、必ず患者の安全を適切に確保できるように設定してください。
- 患者に付き添いがなければ、必ず本製品のモーションコントロールをロックしてください。
- 他の機器からのケーブル、ワイヤー、チューブは、必ず本製品のパーツで挟まないように配置してください。
- 指を挟み込まないでください。
- サイドレールの上に座ったり、サイドレールに寄りかかったりしないでください。
- 尿バッグ用フックに、2 kgの安全使用荷重を超える荷重をかけないでください。
- ナース用コントロールペンダントを患者が届く範囲に置かないでください。
- ベッド延長器の上に座らないでください。本製品の転倒を招くことがあります。
- ベッド延長器に体重をかける前に、必ずベッド延長器をロックしてください。
- 製品を動かす前に、リネントレー（オプション）を必ず格納してください。
- 使用していない時は、リネントレー（オプション）を必ず格納してください。
- リネントレーにかかる荷重は、安全使用荷重である15 kgを超えないでください。
- 患者の四肢や体の他の部分を支えるために、付属品を使用しないでください。
- 付属品が所定の位置に固定されていることを必ず確認してください。
- 点滴ポールに、フック1個につき2 kgの安全使用荷重を超える荷重をかけないでください。
- 付属品が、製品の機械的または電氣的構造に干渉しないようにしてください。
- リフトポールにかかる荷重は、安全使用荷重である75 kgを超えないでください。
- 背もたれの下に酸素ボンベホルダーを取り付けしないでください。
- 患者を移動させる前に、必ず酸素ボンベホルダーを本製品側に入れてください。
- 患者を移動させる際に、酸素ボンベホルダーにぶつからないようにしてください。
- 酸素ボンベホルダーに、7.5 kgの安全使用荷重を超える荷重をかけないでください。
- 尿バッグ用バスケットに、4 kgの安全使用荷重を超える荷重をかけないでください。
- 製品の使用中は、クリーニング、保守、メンテナンスを行わないでください。
- 清掃、保守、メンテナンスの実施前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。
- サーキットボード、ケーブル、モーターの近くで大量に液体がこぼれた場合は、必ず製品の電源を切り、電源コードを壁のアウトレットから抜いてください。ベッドから患者を移動させて液体を掃除し、保守担当者に製品の点検を行ってもらいます。液体は、電気製品の予期しない動作や機能性の低下を引き起こすことがあります。ベッドが完全に乾き、安全に操作できることがテストで十分に証明されるまでは、絶対に製品の使用を再開しないでください。
- バッテリー、コントロールボックス、アクチュエーター、ケーブル、その他の電気機器に洗浄液を直接噴霧しないでください。
- 研磨剤、スチールウール、または製品の表面を傷つける可能性がある同様のものを使わないでください。
- 製品の消毒にVirex® TBを使用しないでください。
- ガソリン、ディーゼル、アセトンなど、清掃の目的で酸塩基または可燃性の薬品を使用しないでください。
- サイドレール コントロールパネル、患者用コントロールペンダント、ナース用コントロールペンダントに洗浄剤を直接噴霧したり、染みこませないでください。
- 洗浄剤や消毒剤は、高いアルカリ性または酸性であってはなりません（pH値6～8であることが必要）。
- サイドレール コントロールパネルを鋭利な物を使って清掃しないでください。
- 製品の洗浄にVirex® TBを使用しないでください。
- アンテナケーブルや外部アンテナなどの周辺機器を含め、移動式RF無線機器をProCeed（製造業者が指定するケーブルを含む）から30 cm（12インチ）以内の距離で使用しないでください。これに従わないと、本装置の性能が劣化する可能性があります。
- 製品の誤作動を防ぐため、本機器を他の機器の近くでまたは他の機器と重ねて使用しないでください。このようにして使用する必要がある場合は、本機器およびその他の機器を注意深く観察して、それらの機器が適切に作動していることを確認してください。
- 本機器の製造業者が指定または供給するもの以外の付属品、トランスデューサーおよびケーブルを使用すると、電磁干渉（EMI）の上昇や電磁免疫（EMI）の低下が生じ、その結果誤作動が起こる可能性があります。

注意

- 本製品を正しく使用しないと、患者や操作者の傷害を招く可能性があります。本製品は、必ず本マニュアルに記載されているとおりに操作してください。
 - 本製品または本製品の部品を改造しないでください。本製品を改造すると、予測不可能な動作が生じて患者や操作者の傷害を招く可能性があります。また、本製品を改造すると保証が無効になります。
 - 電磁的な干渉のリスクを小さくするために、製品はIEC 60601-1-2規格に準拠して設計されています。問題を回避するため、本操作マニュアルのEMCセクションで説明されるEMC/EMI要件に従い本製品を使用してください。
 - 製品に示される入力電圧および周波数を必ず使用してください。
 - 製品の隙間に物を入れないでください。
 - 緊急時に壁の電源コンセントから電源コードを抜けるように、常に製品の頭側端部と近くの壁との間は十分な隙間を空けておいてください。
 - サポートサーフェイスなしで本製品を使用しないでください。
 - 本製品を使用していないときは、常に保護接地極付き医療用コンセントに差し込んで十分なバッテリー充電量を維持し、バッテリー電源で操作する際に本製品の動作性能が最大限発揮できるようにしてください。
 - バッテリー端子の腐食や亀裂、側面の拡大や膨らみがある場合、あるいはフル充電を維持することができなくなった場合には、必ずバッテリーを交換してください。
 - バッテリーを交換する際には、必ずStrykerにより認定されたバッテリーを使用してください。認定されていないバッテリーを使用すると、予測できないシステム動作を引き起こす可能性があります。
 - バッテリーを分解しないでください。
 - バッテリーを過度の熱にさらさないでください。
 - 製品の上に重い物を置いたり保管したりしないでください。
 - 移動中は、点滴ポールが低い高さにあることを必ず確認してください。
 - フットボードを取り外す前に、必ずナース用コントロールペンダントを足側端部のサイドレールにかけるか、リネントレー (オプション) に収納してください。
 - ベッド延長器の使用中に、下脚部を上げないでください。本製品は、背の高い患者の下腿を支持できない場合があります。
 - 患者用コントロールペンダントは、ペンダント使用時には必ずサポートサーフェイスの上に安全に置いてください。
 - 患者用コントロールペンダントは、ペンダント不使用時には必ずサイドレールの上にかけてください。
 - ペンダントケーブルを本製品のフレームで押さえつけたり挟まないようにしてください。
 - ナース用コントロールペンダントは、必ずフットボードの上に置いてください。
 - ベッド延長器を延ばした後でフットボードを取り外さないでください。
 - 製品を移動させる前にリフトポールを必ず取り外してください。
 - 目に見える汚れがある透過物質に皮膚が直接接触すると、感染のリスクが高くなる場合があります。
 - 製品のいずれの部分も、蒸気洗浄、高圧洗浄、超音波洗浄、または水に浸すことはしないでください。水が触れると内部の電気部品が損傷することがあります。これらの清掃方法は推奨されず、製品保証が無効になる場合があります。
 - 必ず清潔な水をつけた布で各製品を拭き、清掃後はしっかりと乾かしてください。洗浄剤の中には腐食性のものもあり、不適切に使用すると製品が損傷する場合があります。適切にすすぎや乾燥を行わないと、製品の表面に腐食性残留物が残り、重要な部品に早発性腐食が生じるおそれがあります。これらの清掃手順に従わないと保証が無効になる場合があります。
-

ピンチポイント



図 1 – ProCeedピンチポイント、可動および固定ヘッドボード

はじめに

本取扱説明書は、ご使用になるStryker製品を操作または保守を行う際にご覧ください。製品の操作または保守を行う前に、本書を一読してください。製品の安全な操作と保守に関して、スタッフの教育・トレーニング方法および手順を定めてください。

注意

- 製品の不適切な使用により、患者または介助者が負傷する可能性があります。製品は、本書に記載されているとおりにのみ操作してください。
 - 製品または製品の部品を改造しないでください。製品を改造すると、予測不可能な動作の原因となり患者や介助者が負傷する可能性があります。また、製品を改造すると保証が無効になります。
-

注記

- 本書は製品に恒久的に付随するものであるため、今後製品を売却することがあっても製品と一緒に保管しておくことをお勧めします。
- Strykerでは、継続的に製品のデザインと品質において進歩を追求しています。本取扱説明書には、発行時に入手している最新の製品情報が記載されています。ご使用の製品と本取扱説明書の記述に若干の不一致がある場合があります。ご質問がある場合は、Strykerカスタマーサービスまたはテクニカルサポート+1-800-327-0770までお問い合わせください。

製品説明

Strykerモデル8500 ProCeedベッドは、患者のサポートサーフェイスを組み合わせた電動の調整可能な病院用ベッドです。

ベッドは、最高ポジションにロックできるサイドレール、ヘッドボード、フットボードを備えています。可動ヘッドボード（オプション）があるベッドでは、ヘッドボードはベッドのアーティキュレーションに合わせて動きます。固定ヘッドボード（オプション）では、ヘッドボードは完全に固定されています。ヘッドボードは、ベッドのアーティキュレーションに関係なく、同じ位置に保たれます。ベッドには、背もたれ部、膝上げ部、関節式リフト機能があり、表面の外形、角度、寝台高の調整を支えています。ベッドの高さは、34～76.5 cmの範囲で調整できます。背もたれ部は0～65度に上昇し、ベッドは12度のトレンデレンブルグ位/逆トレンデレンブルグ体位にすることができます。ベッドにはさらに、手動ブレーキとバックアップバッテリーが装備されています。

使用目的

Stryker ProCeed病院用ベッドは、医療目的のための患者用サポートサーフェイスの提供、および患者の搬送方法の提供を目的としています。本製品は医療施設内で使用し、医療専門家が操作することを意図しています。

本製品は、病院、外科センター、長期急性期治療センター、リハビリテーションセンターで治療を受ける成人患者での使用を対象としています。

適応

Stryker ProCeed病院用ベッドは、一般的な解剖学的構造（体格が146 cmを超える、体重が40 kgを超える、または体格指数が17を超える）の成人患者を、治療、検査、回復の目的で、支持および配置するために使用します。

対象使用者

ベッドの操作者には、医療従事者（看護師、看護助手、医師など）が含まれます。

その他のユーザーは、保守またはメンテナンス担当者（メンテナンスが必要な場合）、患者および一般人（サイドレールの位置決めコントロールなど、想定されるタッチポイントを使用する場合）など、特定の用途の環境で本製品を操作することができます。

臨床的有用性

患者の治療、患者のポジション調整および診断

禁忌

既知の禁忌はありません。

予想耐用年数

通常の使用条件下で使用し、定期保守を適切に行った場合のProCeedの予想耐用期間は10年です。

バックアップ電池は、通常の使用条件下での予想耐用期間は1年です。

廃棄/リサイクル

環境保護並びに耐用年数を終えた機器のリサイクルまたは廃棄に関するリスクを規定する、現地で施行されている最新の推奨事項および/または規制に必ず従ってください。

仕様

警告 - 患者が挟まれるリスクを回避するため、必ず本製品フレームとの適合性が確認されているStryker承認のサポートサーフェイスを使用してください。

	安全使用荷重 注記 - 安全使用荷重は、患者、サポートサーフェイス、および付属品の重量の合計を示します	260 kg
	最大患者体重	215 kg
製品重量		160 kg
製品全体のサイズ	長さ	2200 mm
	長さ（オプションのベッド延長器を含む）	2510 mm
	幅	990 mm
製品の高さ（サポートサーフェイスを含まない）	低	340 mm
	高（患者による制御時）	488 mm
	高（介助者による制御時）	765 mm
	試験ポジション	730 mm
製品下幅		155 mm
キャスターサイズ		Ø150 mm
製品角度インジケータ		0° ~ 15°
背もたれ角度インジケータ		0° ~ 90°
背もたれ角度		0° ~ 65°

膝上げ部角度	0°～30°	
トレンデレンブルグ/逆トレンデレンブルグ	-12°～12°	
トレンデレンブルグ/逆トレンデレンブルグ位	-12°～12°±3°	
電氣的要件		
バッテリー	BA1616 / 1.2 Ah / 24 VDC	
コントロールボックス	100～240 VAC、50/60 Hz、入力電力：340 VA	
電氣に関する分類	製品が電源に接続されている時はクラス1 製品が電源に接続されていない時は内部電源	
デューティサイクル	2分間のアクティブと18分間のアイドル	
アプリケーション環境	IEC 60601-2-52に基づく1、2、3、および5	
最大音響音圧	44.9 dBa	
減弱当量（アルミニウム等価）	該当せず	最大許容値は1.7 mm Al

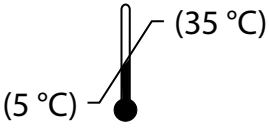
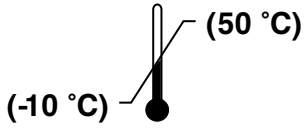
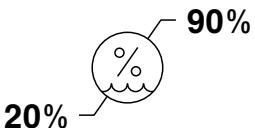
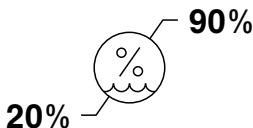
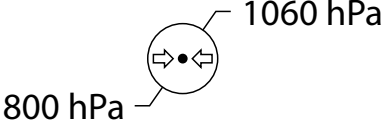
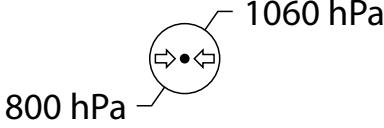
クラス1装置 : 基礎絶縁だけに依存しない感電に対する保護があり、基礎絶縁が破損した場合でも可触の金属部に通電しないように、固定配線の保護用接地線に接続することによって、追加の安全措置を講じている装置。

適合性のあるサポートサーフェス		
8002-0-100	200 cm x 87 cm x 14 cm	
8002-0-101	200 cm x 87 cm x 14 cm	
8002-0-102	200 cm x 87 cm x 14 cm	
8002-0-103	200 cm x 87 cm x 14 cm	
8002-0-104	200 cm x 87 cm x 14 cm	
8002-0-105	200 cm x 87 cm x 14 cm	
2872-000-018	200 cm x 90.2 cm x 24.1 cm	

適合するベッド延長器用サポートサーフェイス		
8002-0-106	33 cm x 71 cm x 14 cm	
8002-0-107	33 cm x 71 cm x 14 cm	
8002-0-108	33 cm x 71 cm x 20 cm	
8002-0-109	33 cm x 71 cm x 20 cm	

Strykerは断りなく仕様を変更する権利を有します。

記載の仕様は概算値であり、製品によって、あるいは電力供給の変動によって多少変動することがあります。

環境条件	操作方法	保管と搬送
温度	 (5 °C) (35 °C)	 (-10 °C) (50 °C)
相対湿度	 20% 90%	 20% 90%
大気圧	 800 hPa 1060 hPa	 800 hPa 1060 hPa

適用基準	
IEC 60601-1 : 2005 + A1 : 2012 + A2 : 2020	医用電気機器-パート1 : 基礎安全および基本性能に関する一般要件
IEC 60601-1-2 : 2014 + A1 : 2020	医用電気機器-パート1-2 : 基礎安全および基本性能に関する一般要件 - 副通則 : 電磁両立性-要求事項および試験
IEC 60601-2-52 : 2009 + A1 : 2015	医用電気機器-パート2-52 : 医用ベッドの基礎安全および基本性能に関する個別要求事項
IEC 60601-2-54 : 2009 + AMD1 : 2015 + AMD2 : 2018 IEC 60601-2-54 : 2022 *製品が放射線透過性の背もたれを搭載している場合にのみ適用されます	医用電気機器-パート2-54 : 撮影・透視用X線装置の基礎安全および基本性能に関する個別要求事項

注意

- 電磁的な干渉のリスクを小さくするために、製品はIEC 60601-1-2規格に準拠して設計されています。問題を回避するため、本操作マニュアルのEMCセクションで説明されるEMC/EMI要件に従い本製品を使用してください。
- 製品に示される入力電圧および周波数を必ず使用してください。

欧州バッテリー仕様

欧州連合のバッテリーおよび廃棄物バッテリー規則に従い、必要なバッテリー情報を以下に記載しています。

説明	品番	数量	電圧	秤量
バッテリー、BA16	HM-17-403	1	24 VDC	1.2 Ah

欧州REACH - ProCeed

欧州REACH規則およびその他の環境保護に関する規制の要件に従って、申告が必要な物質を含む部品を記載しています。

説明		品番	高懸念物質 (SVHC) 化学名
アクチュエーター	安全ナット	HM-17-303、HM-17-305	鉛
アクチュエーター	ブッシュ	HM-17-303	鉛
アクチュエーター	PCBA上のダイオード	HM-17-303、HM-17-305	一酸化鉛、三酸化ニホウ素
アクチュエーター	PCBA上のダイオード	HM-17-323	一酸化鉛 (酸化鉛)、三酸化ニホウ素
アクチュエーター	PCBAの抵抗	HM-17-323	鉛、一酸化鉛 (酸化鉛)
アクチュエーター	PCBAの抵抗	HM-17-303、HM-17-305	鉛、一酸化鉛
バッテリー、BA16	PCBA上のダイオード	HM-17-403	鉛、一酸化鉛、三酸化ニホウ素
バッテリー、BA16	ピエゾトランスデューサ	HM-17-403	チタン酸ジルコン酸鉛
バッテリー、BA16	PCBAの抵抗	HM-17-403	鉛、一酸化鉛
バッテリー、BA16	PCBAのコンデンサ	HM-17-403	三酸化ニホウ素
ブレーキアラームスイッチ	PCBAの抵抗	HM-17-503	鉛、一酸化鉛
ブレーキアラームスイッチ	PCBA上のダイオード	HM-17-503	一酸化鉛、三酸化ニホウ素
コントロールボックス、CO65	PCBAのMOSFET	HM-17-328	鉛
コントロールボックス、CO65	PCBAのブリッジ整流器	HM-17-328	鉛
コントロールボックス、CO65	PCBA上のダイオード	HM-17-328	鉛、一酸化鉛、三酸化ニホウ素
コントロールボックス、CO65	PCBAの抵抗	HM-17-328	鉛、一酸化鉛、三酸化ニホウ素
コントロールボックス、CO65	整流器	HM-17-328	鉛
コントロールボックス、CO65	PCBAのコンデンサ	HM-17-328	三酸化ニホウ素
コントロールボックス、CO65	ピエゾトランスデューサ	HM-17-328	チタン酸ジルコン酸鉛
ナース用ペンダント	PCBAの抵抗	HM-17-814	鉛、一酸化鉛
ナース用ペンダント	PCBA上のダイオード	HM-17-814	一酸化鉛、三酸化ニホウ素
ナース用ペンダント	PCBAのコンデンサ	HM-17-814	三酸化ニホウ素
患者用ペンダント	PCBAの抵抗	HM-17-813	鉛、一酸化鉛
患者用ペンダント	PCBA上のダイオード	HM-17-813	一酸化鉛、三酸化ニホウ素
電源コード	ケーブル	HM-17-052	トリス (2-メトキシエトキシ) ビニルシラン
電源コード	電源コード	HM-17-054	トリス (2-メトキシエトキシ) ビニルシラン
サイドレール コントロールユニット	PCBAの抵抗	HM-17-804、HM-17-806、HM-17-816、HM-17-817	鉛、一酸化鉛

説明		品番	高懸念物質 (SVHC) 化学名
サイドレール コントロール ユニット	PCBA上のダイオード	HM-17-804、HM-17-807、 HM-17-816、HM-17-817	一酸化鉛、三酸化ニホウ素
サイドレール コントロール ユニット	PCBAの抵抗	HM-17-805	鉛、一酸化鉛 (酸化鉛)、 三酸化ニホウ素
サイドレール コントロール ユニット	コンデンサー	HM-17-805	三酸化ニホウ素
サイドレール コントロール ユニット	PCBA上のダイオード	HM-17-805	一酸化鉛 (酸化鉛)、三酸 化ニホウ素
サイドレール コントロール ユニット	PCBA上のダイオード	HM-17-806	一酸化鉛、三酸化ニホウ素
サイドレール コントロール ユニット	PCBAの抵抗	HM-17-807	鉛、一酸化鉛
サイドレール コントロール ユニット	PCBAのコンデンサ	HM-17-807、HM-17-816、 HM-17-817	三酸化ニホウ素
管理者用スパイラルケーブ ル	ケーブル	HM-17-317	鉛
ベッド下ライト UBL2	PCBAの抵抗	HM-17-297	鉛、一酸化鉛 (酸化鉛)
ベッド下ライト UBL2	トランジスタ	HM-17-297	鉛
ベッド下ライト UBL2	PCBA上のダイオード	HM-17-297	2,2',6,6'-テトラブロモ-4,4'- イソプロピリデンジフェ ノール、鉛、一酸化鉛 (酸 化鉛)、三酸化ニホウ素

製品図示

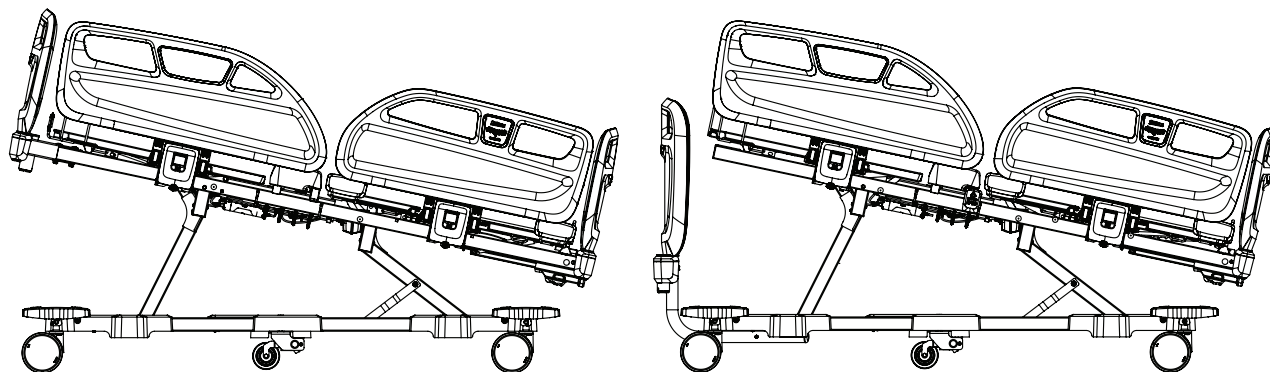


図2－ヘッドボードモデル、[可動（左）および固定（右）]

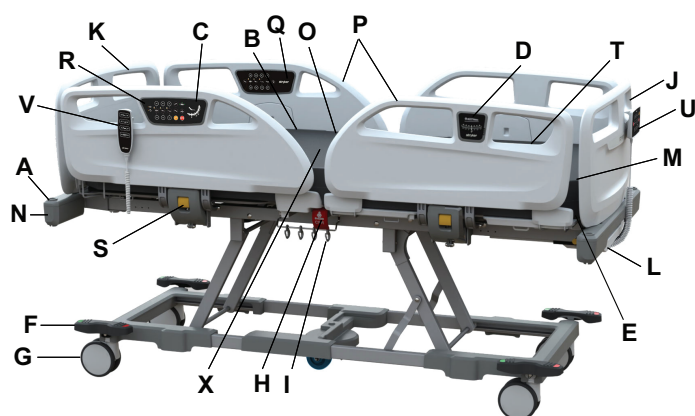


図3－ProCeedベッドシリーズ、可動ヘッドボード（オプション）



図4－ProCeedベッドシリーズ、固定ヘッドボード（オプション）

A	付属スリーブ
B	背もたれ
C	背もたれの角度測定器
D	ベッド角度インジケーター
E	ベッド延長器（オプション）
F	ブレーキ/ステアリングペダル
G	キャスター（デュアル車輪キャスター）
H	心肺蘇生用リリース
I	尿バッグ用フック
J	フットボード

M	下脚部
N	バンパー
O	シート部
P	サイドレール
Q	サイドレールコントロールパネル（サイドレールの内側）（オプション）
R	サイドレールコントロールパネル（サイドレールの外側）（オプション）
S	サイドレールラッチ
T	上脚部
U	ナース用コントロールペンダント（オプション）
V	患者用コントロールペンダント（オプション）

K	可動ヘッドボード (オプション)	W	固定ヘッドボード (オプション)
L	リネントレー (オプション)	X	サポートサーフェイス

装着部品



図 5 – タイプB適合部品

連絡先

Strykerカスタマーサービスまたはテクニカルサポートまでご連絡ください : +1 800-327-0770.

Stryker Medical International

Kayseri Serbest Bölge Şubesi

2. Cad. No:17 38070

Kayseri, Turkey

電子メール: infosmi@stryker.com

電話 : + 90 (352) 321 43 00 (PBX)

ファックス : + 90 (352) 321 43 03

ホームページ: www.stryker.com

注記 - 製品に関連して重大な事故が発生した場合、使用者および / または患者は居住地を管轄する欧州連合加盟国の監督官庁並びに製造業者の両方に報告する必要があります。

オンラインの操作・保守説明書を閲覧するには、<https://techweb.stryker.com/>を参照してください。

Strykerカスタマーサービスにご連絡いただく際は、Stryker製品のシリアル番号(A)をご用意ください。書面にてご連絡いただく場合は、必ずシリアル番号を記載してください。

シリアル番号の位置

Strykerのシリアル番号および仕様ラベル (A) は、本製品の足側端部付近における患者用サイドレールの下にあります (図 6)。

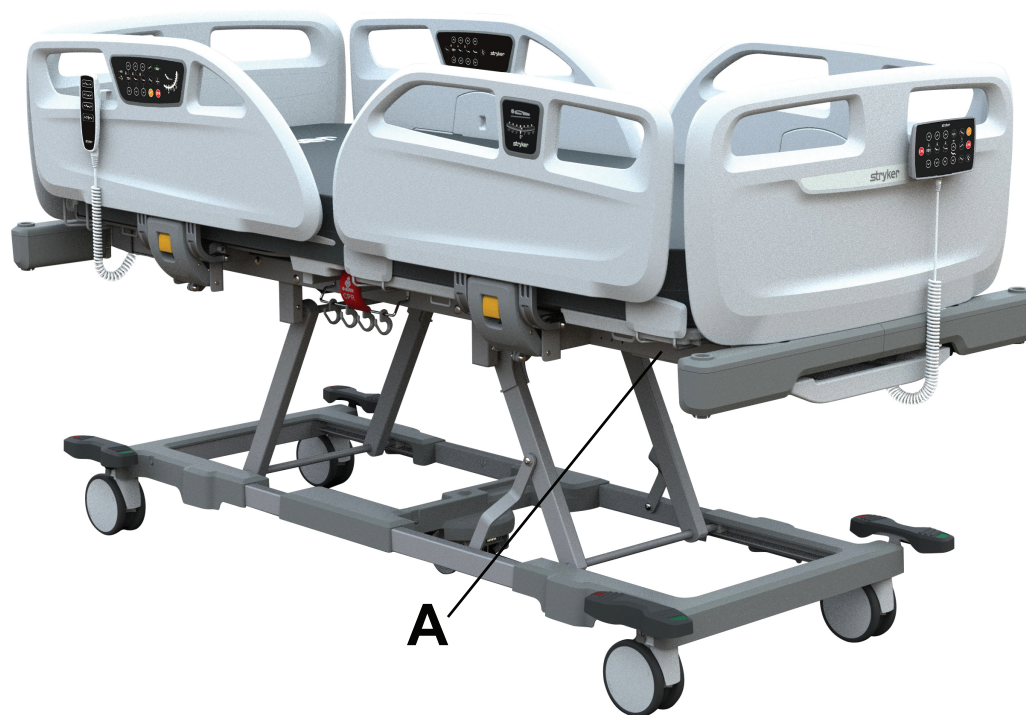


図 6 – Strykerシリアル番号および仕様ラベルの位置

セットアップ

警告

- 製品の機能損傷を防ぐため、必ず製品が室温になってから、設定や機能操作テストを行うようにしてください。
- 使用が操作者や患者の怪我を引き起こす場合は、本製品を使用しないでください。
- 本製品に安全作業荷重である260 kg以上の負荷を掛けないでください。
- すべての操作者が構造から離れるまで、製品の操作を行わないでください。
- 感電のリスクを回避するために、本製品は必ず保護接地付き電源に接続してください。
- 絡まり、電源コードの損傷、または潜在的な感電のリスクを回避するために、電源コードは常に保管してください。電源コードが損傷してしまった場合は、製品の使用を中止し、適切なメンテナンス担当者に連絡してください。
- 本製品の下に物を置かないでください。
- 患者が挟まれるリスクを回避するため、必ず本製品フレームとの適合性が確認されているStryker承認のサポートサーフェイスを使用してください。

注意

- 製品の隙間に物を入れないでください。
- 緊急時に壁の電源コンセントから電源コードを抜けるように、常に製品の頭側端部と近くの壁との間は十分な隙間を空けておいてください。
- サポートサーフェイスなしで本製品を使用しないでください。

本製品をセットアップして機能テストを行うには：

1. 製品に輸送による損傷がないか点検します。
2. 製品と、すべての部品・付属品が届いていることを確認します。
3. ブレーキペダルを踏み込み、ブレーキ、ステアリング、ニュートラル位置が作動することを確認します。
4. サイドレールを上げ下げして、動くこと、収納、一番高い位置でロックできることを確認します。を参照してください。サイドレールを昇降させる (ページ24)
5. コントロールボックスにバッテリーケーブルをつなぎます。を参照してください。バッテリーケーブルのプラグを差し込む、または抜く (ページ16)
6. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
7. サイドレール コントロールパネル、ナース用コントロールペンダント、患者用コントロールペンダント (オプション) の各ボタンを押し、それぞれの機能が動作することを確認します。
8. バッテリーが完全に充電されていることを確認します (Q)。を参照してください。介助者コントロールパネル、外側サイドレール (ページ25)
9. 心肺蘇生 (CPR) リリースハンドルが機能することを確認します。を参照してください。CPRリリースハンドルを有効にする (ページ21)
10. アクセサリー (オプション) が取り付けられ、機能することを確認します。
11. サポートサーフェイスをセットアップします。セットアップ方法は、サポートサーフェイスの操作マニュアルをご覧ください。

動作時

バッテリーケーブルのプラグを差し込む、または抜く

バッテリーにバッテリーケーブルをつなぐ：

1. 下脚レストカバー（A）を取り外します（図7）。
2. バッテリーの位置を確認します（図8）。
3. バッテリーケーブルをバッテリーに接続します。
4. バッテリーケーブルロックを押し、バッテリーケーブルをバッテリー（A）に固定します。

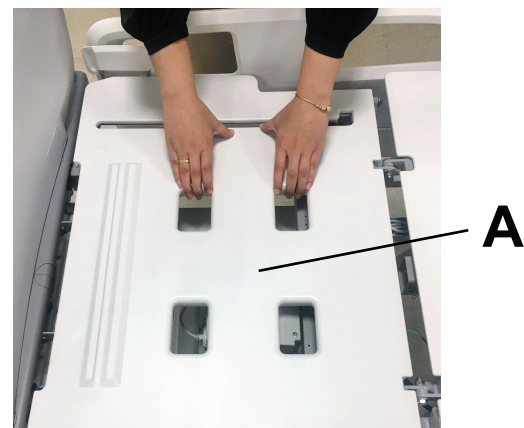


図7－下脚レストカバーを取り外す

バッテリーからバッテリーケーブルを抜き去る：

1. 下脚レストカバー（A）を取り外します（図7）。
2. バッテリーの位置を確認します（図8）。
3. 小型のマイナスドライバーを使用して、バッテリーケーブルロックを押しします。バッテリーケーブルを引き出します（図9）。
4. バッテリーケーブルをバッテリーから外します。
5. テープを使用して、バッテリーケーブルをボトムフレームに固定します（図10）。

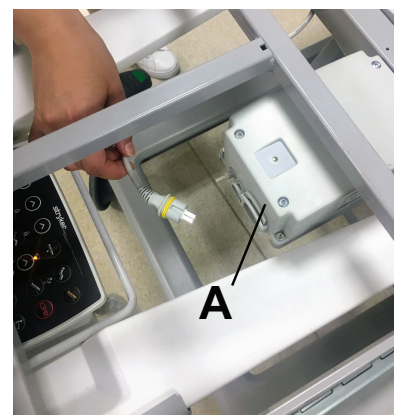


図8－バッテリーケーブルをロックまたはロック解除する



図9－電源コードのロックを押し込む

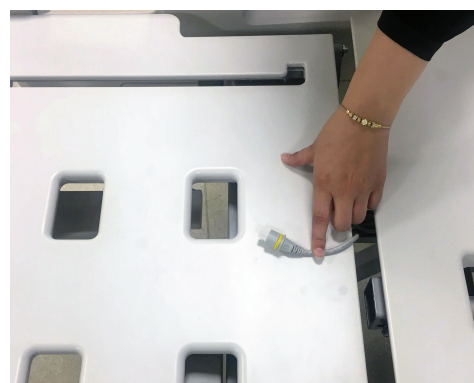


図10－バッテリーからバッテリーケーブルを抜き去る

本製品の電源プラグを差し込む、または抜く

警告

- 感電のリスクを回避するために、本製品は必ず保護接地付き電源に接続してください。
- 絡まり、電源コードの損傷、または潜在的な感電のリスクを回避するために、電源コードは常に保管してください。電源コードが損傷してしまった場合は、製品の使用を中止し、適切なメンテナンス担当者に連絡してください。

注意 - 緊急時に壁の電源コンセントから電源コードを抜けるように、常に製品の頭側端部と近くの壁との間は十分な隙間を空けておいてください。

注記 - 移動中以外は、必ず本製品を電源に接続しておいてください。

本製品にはベッド電源コードが付いています。

- 本製品を電源に接続するには、電源コードプラグを保護接地極付き医療用コンセントに差し込みます。
- サイドレールとナース用ペンダントの緑色のAC電源LEDが点灯していることを確認します。
- 本製品の電源プラグを抜くには、壁コンセントに近いプラグの金型部分をしっかりとつかみ、床面と水平になるように抜きます (斜めにならないように)。

バッテリーの充電

警告

- バッテリー、ケーブル、またはコードの過熱を検出した場合は、必ず電源コードプラグを壁コンセントから抜いてください。保守担当者が検査とサービスを行い、目的通りの動作が確認されるまで、本製品を使用しないでください。
- 予想耐用期間を超えたバッテリーは必ず交換してください。
- バッテリーに液体をこぼしたり、バッテリーを液体に漬けないでください。

注意

- 本製品を使用していないときは、常に保護接地極付き医療用コンセントに差し込んで十分なバッテリー充電量を維持し、バッテリー電源で操作する際に本製品の動作性能が最大限発揮できるようにしてください。
- バッテリー端子の腐食や亀裂、側面の拡大や膨らみがある場合、あるいはフル充電を維持することができなくなった場合には、必ずバッテリーを交換してください。
- バッテリーを交換する際には、必ずStrykerにより認定されたバッテリーを使用してください。認定されていないバッテリーを使用すると、予測できないシステム動作を引き起こす可能性があります。
- バッテリーを分解しないでください。
- バッテリーを過度の熱にさらさないでください。

本製品は、電源プラグを壁コンセントに差し込んだ時に充電を行うバッテリーバックアップシステムを装備しています。バッテリーバックアップシステムにより、電源プラグが抜かれた時、停電時、または移動中でも本製品を使用することができます。バッテリーバックアップ機能は、本製品の電源プラグを抜いた時に有効になります。

バッテリーバックアップ機能は常に確認してください。予防保守中に意図したとおりに動作しない場合は、バッテリーを交換します。

バッテリーレベルが低い時に本製品を動かそうとすると、サイドレールのバッテリー状態インジケーターが琥珀色に点滅し、ビープ音が鳴ります。

バッテリーを充電するには、本製品を保護接地極付き医療用コンセントに接続します。

バッテリーは12時間以内にフル充電されます (Q)。を参照してください。介助者コントロールパネル、外側サイドレール (ページ25)

バッテリーを長期間保管する

警告 - 製品を長期間にわたり保管する前に、必ずバッテリーからバッテリーケーブルを取り外してください。

注意 - 製品の上に重い物を置いたり保管したりしないでください。

この仕様セクションの説明どおり、環境に応じてバッテリーを保管してください。を参照してください。仕様 (ページ7)

バッテリーを保管する：

1. を参照してください。本製品の電源プラグを差し込む、または抜く (ページ17)
2. を参照してください。バッテリーケーブルのプラグを差し込む、または抜く (ページ16)

本製品を移動する

警告

- 患者を移動するときは、必ずスリープサーフェイスが水平の状態ですイドレールを最高ポジションにロックしてください。
 - 四肢、手、指、その他の体の部分が、構造や隙間に入らないように常に気をつけてください。
 - 本製品の付近に障害物がないことを常に確認してください。障害物にぶつかった場合、患者、介助者、居合わせた人に対する人身事故や、フレームまたは周囲の機器の損傷を招くことがあります。
 - 本製品を横方向に移動させないでください。本製品の転倒を招くことがあります。
 - サイドレールは、押し引きする道具として使用しないでください。本製品を移動させるときは、必ずヘッドボードとフットボードを使用してください。
 - リフトポールを押ししたり引いたりするための道具として使用しないでください。
 - 酸素ボンベホルダーは、押し引きする道具として使用しないでください。
 - 点滴ポールは、押し引きする道具として使用しないでください。
-

注意 - 移動中は、点滴ポールが低い高さにあることを必ず確認してください。

本製品を運搬するには：

1. サイドレールのコントロールパネル機能をロックします。
2. 壁コンセントから電源プラグを抜きます。
3. 点滴ポールを低くします。
4. 酸素ボンベホルダーを本製品の方に入れます。
5. サイドレールを最高ポジションに上げてロックします。を参照してください。サイドレールを昇降させる (ページ24)
6. ブレーキを解除します。を参照してください。ブレーキをかける、または解除する (ページ19)
7. ヘッドボードまたはフットボード側から本製品を押します。
8. 移動後に、電源コードを病院グレードの保護接地付壁コンセントに差し込みます。
9. ブレーキをロックします。

ブレーキをかける、または解除する

警告

- 患者が本製品に乗り降りする際は、バランスを崩すことがないように必ずブレーキをかけてください。
- 患者に付き添いがいないときは、必ずブレーキをかけてください。
- 本製品が動いている間は、減速または停止のためにブレーキをかけないでください。

ブレーキ/ステアリングペダルは、本製品の4隅にあります。

ブレーキをかけたり解除したりするには：

ブレーキをかけるにはペダルの赤色側を踏み込みます（図 11）。ブレーキペダルは、4つのキャスターすべてをロックして、本製品を所定の位置に保持します。



図 11 – ブレーキをかける

ブレーキを解除するには、ペダルがニュートラルポジションになるまで、ペダルの緑色側を踏み込みます（図 12）。これで4つのキャスターがすべて解放され、本製品の移動が可能になります。

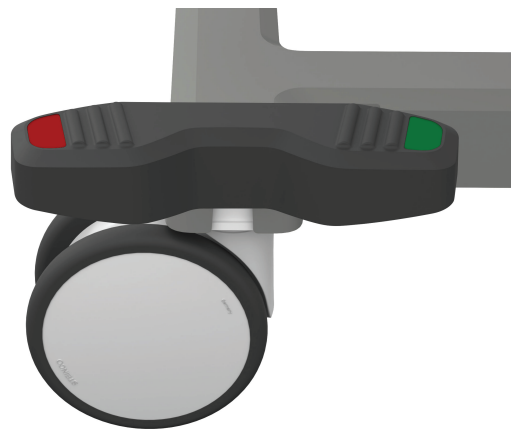


図 12 – ブレーキの解除/ニュートラルポジション

注記 - ブレーキを解除すると、介助者コントロールパネルのブレーキインジケータ（P）が点灯します。を参照してください。介助者コントロールパネル、外側サイドレール（ページ25）

Steer-Lockをかける、または解除する

警告

- 患者を移動するときは、必ずスリープサーフェイスが水平の状態ですイドレールを最高ポジションにロックしてください。
- 本製品を移動する前には、必ず電源コードを壁コンセントから抜いてください。
- ブレーキは、本製品を移動する前に必ず解除してください。ブレーキをかけたまま本製品を移動しないでください。

Steer-Lockペダルは、本製品の頭側端部と足側端部の両方にあります。本製品の移動時にコーナーを回転して曲がると、Steer-Lockは本製品を直線に沿うように誘導します。Steer-Lockペダルは、足側端部のキャストをロックします。

Steer-Lockをかけたまま移動するには：

ステアリングキャストを作動させるには、ペダルの緑色の側を踏み込みます（図 13）。



図 13 – Steer-Lockをかける

Steer-Lockを解除するには、ペダルがニュートラルポジションになるまで、ペダルの赤色側を踏み込みます（図 14）。

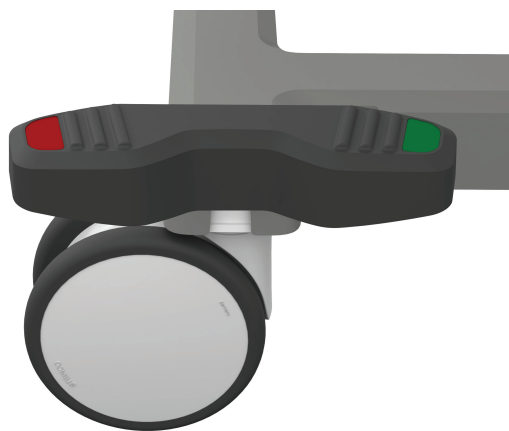


図 14 – Steer-Lockの解除/ニュートラルポジション

注記 - 任意の方向に動かすには、Steer-Lockペダルを解除します。

第5輪をかける、または解除する（オプション）

ブレーキ/ステアリングペダルは各キャスターにあります。

格納式第5輪を適用するには、ブレーキ/ステアリングペダルの緑色の側を踏みます（図 15）。これにより、第5輪を作動させて、製品を前後にまっすぐ動かすことができます。



図 15 – 第5輪を作動させる

第5輪を解除するには、ブレーキ/ステアリングペダルの赤色の側をペダルがニュートラルのポジションになるまで踏み込みます（図 16）。これにより第5輪が解除され、製品を前後左右に自由に動かします。

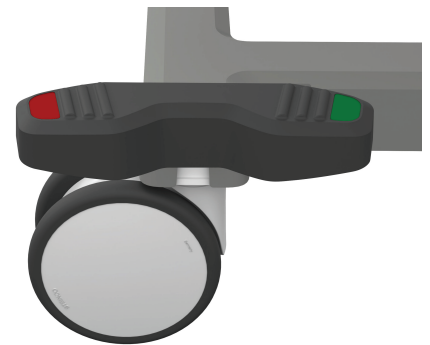


図 16 – 第5輪を解除する

CPRリリースハンドルを有効にする

警告 - CPRリリースハンドルを有効にする前に、背もたれの下と周囲に人や機器がないことを必ず確認してください。CPRリリースハンドルは緊急時のみに使用します。

背もたれを起こしているとき、早急に患者にアクセスする必要がある場合は、CPRリリースハンドルを引いて本製品を0°まで倒します。

注記 - 手動CPRを有効にすると、背もたれが上がらない場合があります。背もたれが再度上がるようにするには、背もたれのダウンボタンを1回押してリセットし、通常の機能を復元します。

2つのCPRリリースハンドル（A）は、ボトムの膝上げ部の左右にあります（図 17）。

心肺蘇生用リリースハンドルを起動するには：

1. CPRリリースハンドル（A）を引きます（図 17）。

注記 - CPRリリースハンドルを放すと、本製品の背もたれの動きをいつでも停止できます。

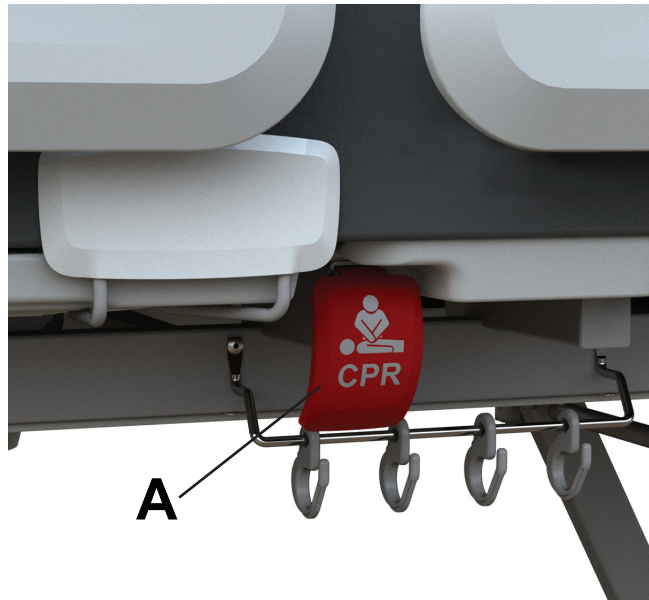


図 17 – CPRリリースハンドルを有効にする

2. 背もたれを平らになるまで誘導します。

ヘッドボードを取り外す、または交換する

警告 - ヘッドボードを交換する際は、必ずヘッドボードを目的の位置に合わせて、挟まれないようにしてください。

ヘッドボードを取り外して、患者にアクセスしたり、本製品を掃除したりできます。

ヘッドボードを取り外すには、ハンドルをつかみ、ヘッドボードをまっすぐ上に持ち上げて本製品から外します (図 19)。

ヘッドボードを交換する：

1. ヘッドボードのペグを本製品の頭側端部にあるソケットに合わせます (図 18)。
2. ヘッドボードがソケット内で位置が合うまでヘッドボードを下げます (図 19)。



図 18 – ヘッドボードのポジション

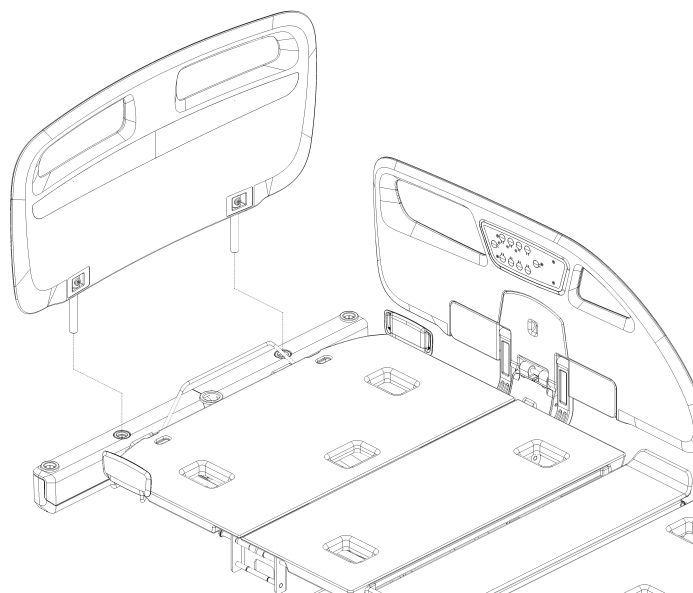


図 19 – ヘッドボードの取り外し

フットボードを取り外す、または交換する

警告 - フットボードを交換する際は、必ずフットボードを目的の位置に合わせて、挟まれないようにしてください。

注意 - フットボードを取り外す前に、必ずナース用コントロールペンダントを足側端部のサイドレールにかけるか、リネントレー（オプション）に収納してください。

フットボードを取り外して、患者にアクセスしたり、本製品を掃除したりできます。

フットボードを取り外すには、ハンドルをつかみ、フットボードをまっすぐ上に持ち上げて本製品から外します（図 21）。

フットボードを交換するには：

1. フットボードのペグを本製品の足側端部にあるソケットに合わせます（図 20）。
2. フットボードがソケット内で位置が合うまでフットボードを下げます（図 21）。

注記 - フットボードの下に物を挟まないでください。



図 20 – フットボードのポジション

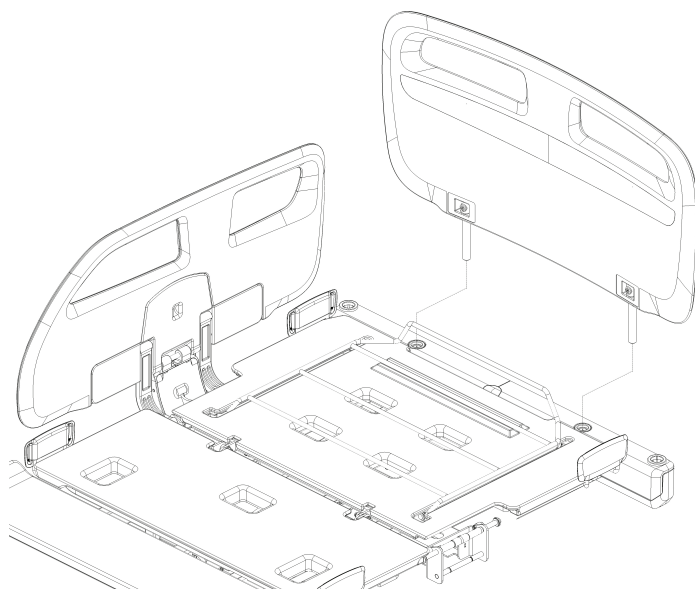


図 21 – フットボードの取り外し

下脚部を昇降させる

警告

- 下脚部を下げる前に、レッグレストの下または周囲に人や物がないことを必ず確認してください。
- 患者に付き添いのないときは、必ず本製品が最低高さのポジションにあることを確認してください。

注意 - ベッド延長器の使用中に、下脚部を上げないでください。本製品は、背の高い患者の下腿を支持できない場合があります。

下脚部を手動で上げ下げできます。

下脚部を上げる：

1. 下脚部を両手でつかみます。
2. 下脚部を希望の高さまで上げます。
3. 下脚部を離し、正しい位置でロックされるようにします。

下脚部を下げる：

1. 下脚部を両手でつかみます。
2. 下脚部を完全に直立位置になるまで上げて、下脚部のロックを解除します。
3. 下脚部を下に向かってボトムまで誘導します。

サイドレールを昇降させる

警告

- サイドレールポジションは、必ず患者の安全を適切に確保できるように設定してください。
- 患者に付き添いがいない時は、必ず本製品のモーションコントロールをロックしてください。
- 他の機器からのケーブル、ワイヤー、チューブは、必ず本製品のパーツで挟まないように配置してください。
- 指を挟み込まないでください。

- サイドレールの上に座ったり、サイドレールに寄りかかったりしないでください。
-

注記 - サイドレールを患者の拘束具として使用しないでください。

サイドレールを上げるには、引き上げて押し込みます。クリック音が聞こえて、サイドレールが所定のポジションにロックされたことを示します。サイドレールを引っ張って、サイドレールがロックされたことを確認します。

サイドレールを下げるには、黄色の解除用ラッチ (A) を持ち上げ、サイドレールを最低高さのポジションまで下げます。

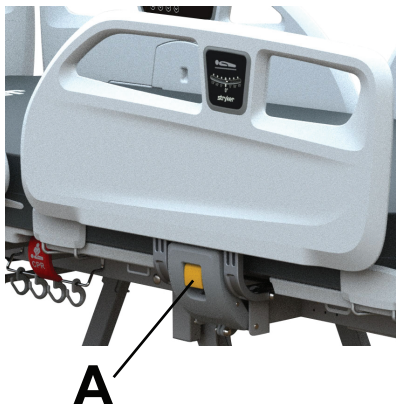


図 22 – サイドレールを昇降させる

尿バッグ用フックに尿バッグを固定する

警告 - 尿バッグ用フックに、2 kgの安全使用荷重を超える荷重をかけないでください。

尿バッグ用フックは2つあり、本製品の足部の下、左右に1つずつあります。

尿バッグを固定するには、尿バッグのフックを尿バッグ用フックに取り付けます。

注記 - 本製品の高さの設定が低い時は、尿バッグが床に触れないようにしてください。

介助者コントロールパネル、外側サイドレール

警告

- 患者に付き添いが無い時は、必ず本製品のモーションコントロールをロックしてください。
-

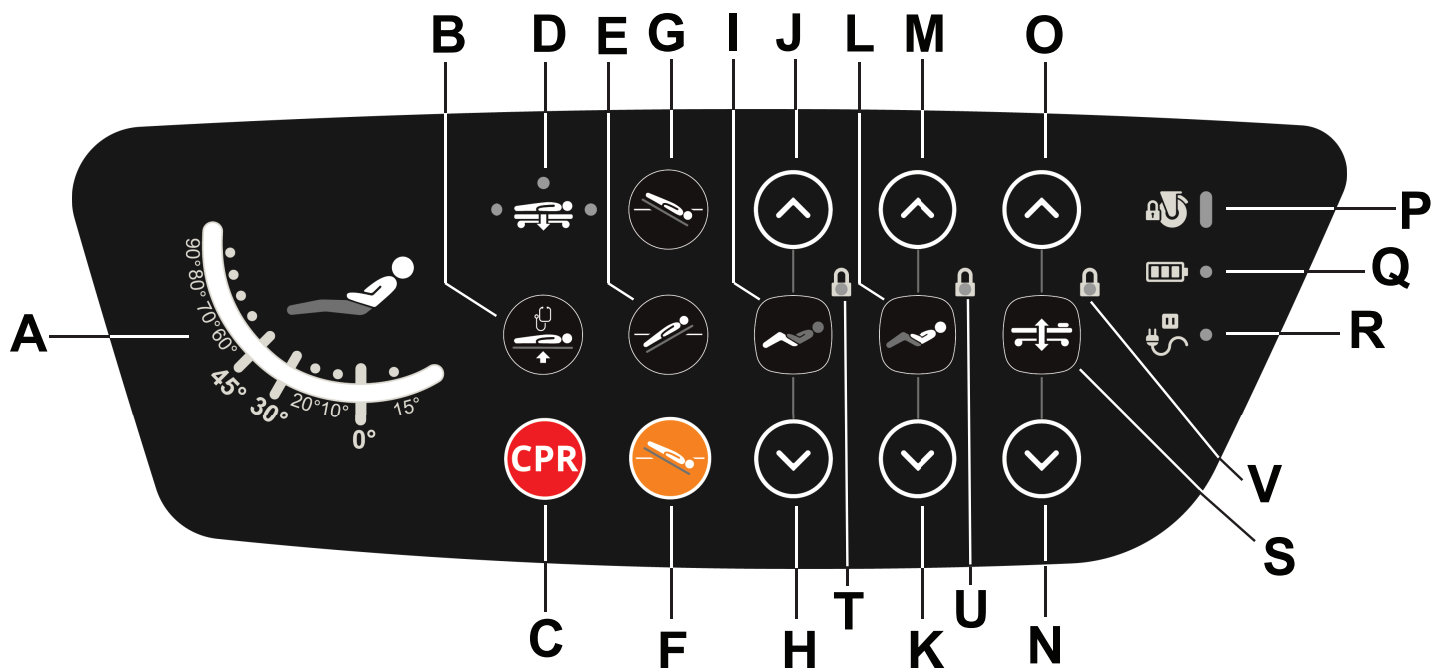


図 23 – 外側サイドレール

A	角度測定器	ベッド頭部の角度を示します
B	試験ポジション	本製品を試験ポジションの高さに平らに配置します
C	CPRボタン	本製品をCPRの位置に下げます
D	低 高さインジケーター	最低高さのポジションを示します
E	逆トレンデレンブルグ位	本製品を逆トレンデレンブルグ位にします (頭部を高く、足を低くする)
F	バスキュラーポジション	本製品をバスキュラーポジションにします (ベッドデッキが平らで頭部が下)
G	トレンデレンブルグ位	本製品をトレンデレンブルグ位にします (頭部を低く、足を高くする)
H	膝上げ部 ダウン	膝上げ部を下げる
I	膝ボトムロック	膝上げ部の動きをロックします
J	膝上げ部 アップ	膝上げ部を上げる
K	背もたれダウン	背もたれを下げます
L	背もたれロック	背もたれの動きをロックします
M	背もたれアップ	背もたれを上げます
N	寝台高 ダウン	ボトムを下げる
O	寝台高 アップ	ボトムを上げる
P	ブレーキインジケーター	ブレーキをかけると緑色に点灯します (ブレーキ設定)
		ブレーキを解除すると琥珀色に点滅します (ブレーキオフ)
Q	バッテリー状態インジケーター	本製品が壁コンセントに接続されている、バッテリーが完全に充電されている、または製品が接続されていないがバッテリーの電力が高い時に、緑色に点灯します
		本製品が壁コンセントに接続されて充電中の時に、琥珀色に点灯します

		本製品が壁コンセントに接続されておらず、バッテリー残量が少ない場合、または本製品が接続されていてバッテリーが外れているかエラーがある場合、琥珀色に点滅します
R	AC電源インジケータ	本製品を壁コンセントに接続すると、緑色に点灯します
		本製品が壁コンセントに接続されていないと、琥珀色に点滅します
S	寝台高ロック	ベッド高さの動きをロックします
T	膝上げ部ロックインジケータ	膝上げ部がロックされると琥珀色に点灯します
U	背もたれロックインジケータ	背もたれ部分をロックした時に、琥珀色に点灯します
V	ベッド高ロックインジケータ	ベッド高さ機能をロックした時に、琥珀色に点灯します

患者コントロールパネル、内側サイドレール

警告

- 患者に付き添いが無い時は、必ず本製品のモーションコントロールをロックしてください。

医療提供者は、患者に患者コントロールパネルの使用方を説明しなければなりません。

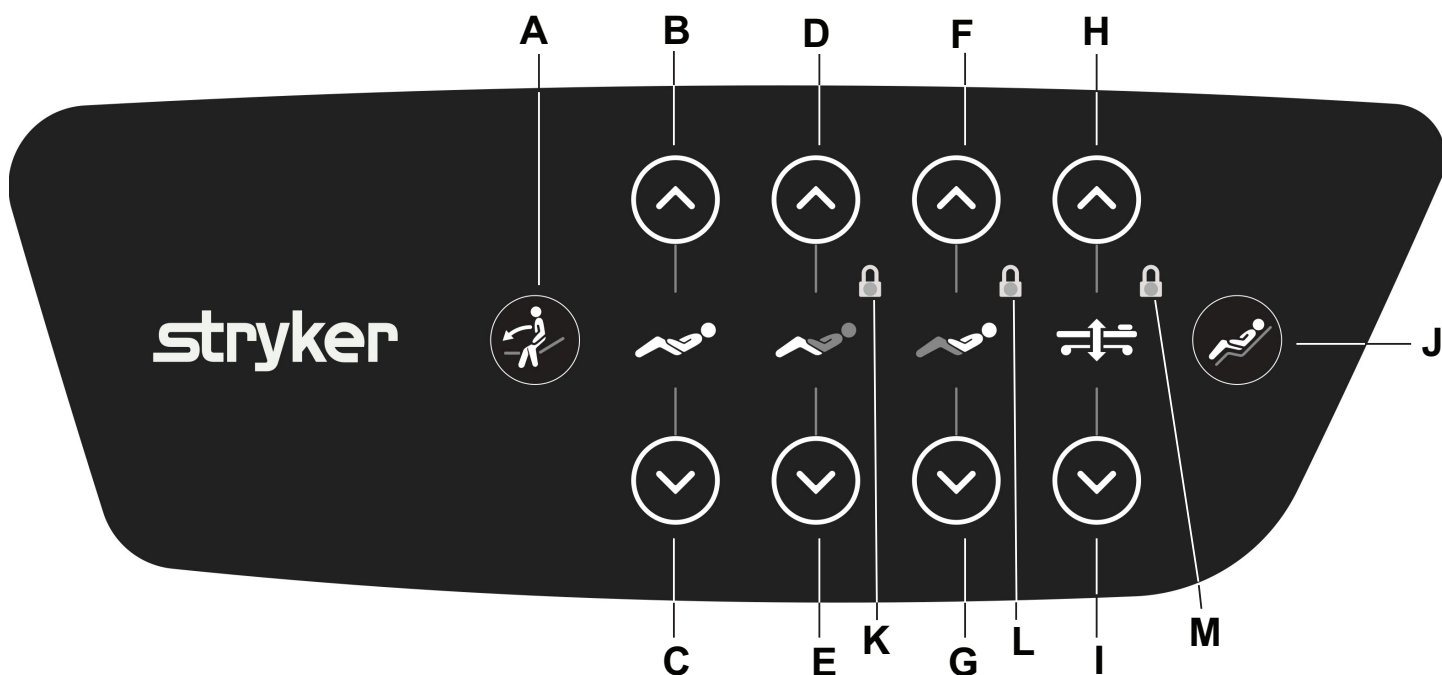


図 24 – 内側サイドレール

A	患者立ち上がり補助	本製品を患者の乗降のためそれぞれのポジションにセットします
B	オートコントロール アップ	背もたれと膝上げ部を持ち上げます
C	オートコントロール ダウン	背もたれと膝上げ部を下げます
D	膝上げ部 アップ	膝上げ部を上げる
E	膝上げ部 ダウン	膝上げ部を下げる

F	背もたれアップ	背もたれを上げます
G	背もたれダウン	背もたれを下げます
H	寝台高 アップ 注記 - 高さ制限は患者による制御時のみ適用されます。	ボトムを上げる
I	寝台高 ダウン	ボトムを下げる
J	椅子座位ポジション	製品を椅子座位ポジションに移動する
K	膝上げ部ロックインジケータ	膝上げ部がロックされると琥珀色に点灯します
L	背もたれロックインジケータ	背もたれ部分をロックした時に、琥珀色に点灯します
M	ベッド高ロックインジケータ	ベッド高さ機能をロックした時に、琥珀色に点灯します

患者用コントロールペンダント (オプション)

警告 - 患者に付き添いが無い時は、必ず本製品のモーションコントロールをロックしてください。

注意

- 患者用コントロールペンダントは、ペンダント使用時には必ずサポートサーフェイスの上に安全に置いてください。
- 患者用コントロールペンダントは、ペンダント不使用時には必ずサイドレールの上にかけてください。
- ペンダントケーブルを本製品のフレームで押さえつけたり挟まないようにしてください。

医療スタッフは、ペンダントの操作方法を患者に説明しなければなりません。

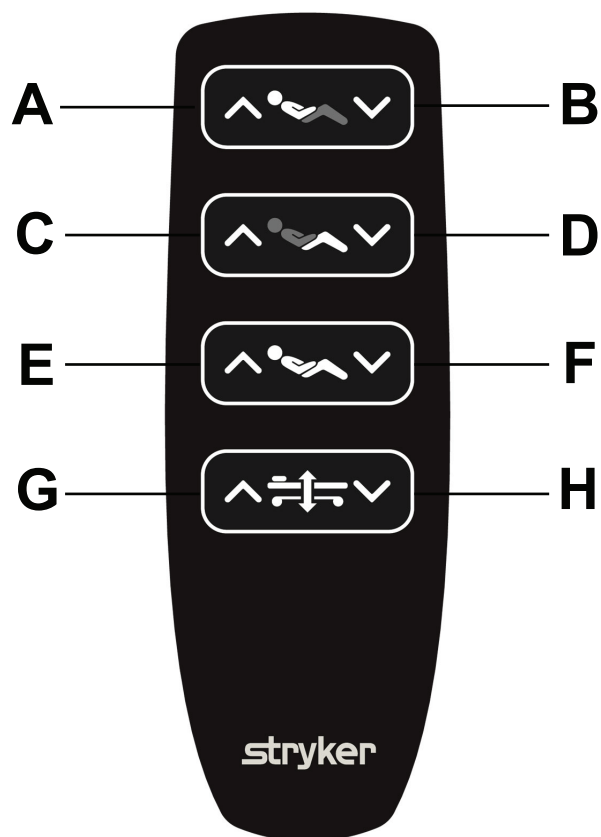


図 25 – 患者用コントロールペンダント

	品名	機能
A	背もたれアップ	背もたれを上げます
B	背もたれダウン	背もたれを下げます
C	上脚アップ	上脚部を上げます
D	上脚ダウン	上脚部を下げます
E	オートコントロール アップ	背もたれと上脚部を同時に上げます
F	オートコントロール ダウン	背もたれと上脚部を同時に下げます
G	寝台高 アップ 注記 - 高さ制限は患者による制御時のみ適用されま す。	ボトムを上げる
H	寝台高 ダウン	ボトムを下げる

ナース用コントロールペンダント

警告

- 患者に付き添いが無い時は、必ず本製品のモーションコントロールをロックしてください。
- ナース用コントロールペンダントを患者が届く範囲に置かないでください。

注意

- ナース用コントロールペンダントは、必ずフットボードの上に置いてください。
- フットボードを取り外す前に、必ずナース用コントロールペンダントを足側端部のサイドレールにかけるか、リネントレー（オプション）に収納してください。
- ペンダントケーブルを本製品のフレームで押さえつけたり挟まないようにしてください。

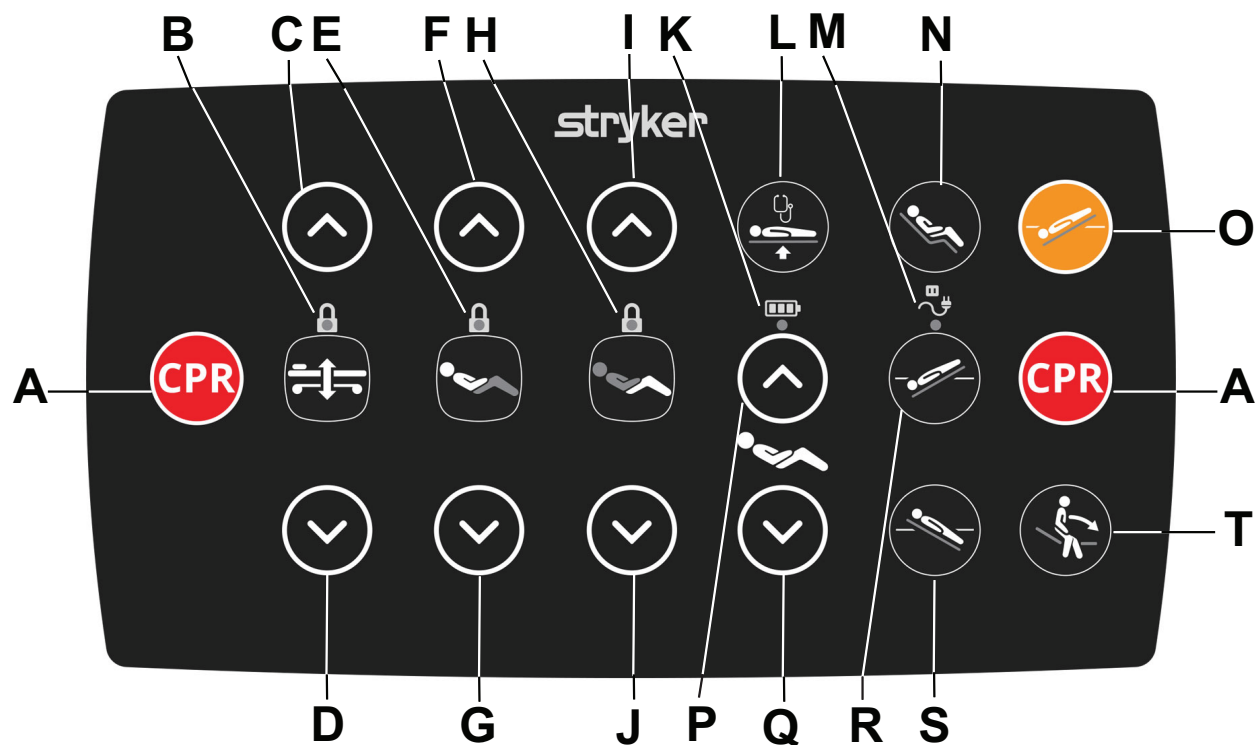


図 26 – ナース用コントロールペンダント

	品名	機能
A	緊急心肺蘇生	コントロールパネルのロックアウトを無効にし、水平低床位にします。コントロールパネルの電源が切られている場合でも、使用可能です。
B	ベッド高さロックインジケータ/ボトムロックアウトLED	ベッド高さモーションのロックを有効または無効にします。ボトムをロックした時に琥珀色に点灯します。
C	寝台高 アップ	ボトムを上げる
D	寝台高 ダウン	ボトムを下げる
E	背もたれアップ ロックインジケータ/背もたれロックアウトLED	背もたれのロックを有効または無効にします。背もたれをロックした時に琥珀色に点灯します。
F	背もたれアップ	背もたれを上げます
G	背もたれダウン	背もたれを下げます
H	上脚ロックインジケータ/上脚ロックアウトLED	上脚部のロックを有効または無効にします。上脚部をロックした時に琥珀色に点灯します。
I	上脚アップ	上脚部を上げます
J	上脚ダウン	上脚部を下げます

	品名	機能
K	バッテリー状態インジケータ	製品を壁のコンセントに接続してバッテリーの充電が行われる間、琥珀色に点灯します。バッテリーは10～12時間でフル充電されます。バッテリーが充電完了すると、LEDは点灯しません。 本製品が壁コンセントに接続されておらず、バッテリー残量が少ない場合、または本製品が接続されていてバッテリーが外れているかエラーがある場合、琥珀色に点滅します
L	試験ポジション	ボトムを平らにし、試験ポジションの高さまでボトムを上げます
M	AC電源インジケータ	本製品が壁コンセントに接続されていないと、琥珀色に点滅します
N	椅子座位ポジション	製品を椅子座位ポジションにする
O	ワンボタン バスキュラーポジション	コントロールパネルのロックアウトを無効にし、12°トレンデレンブルグ位にします
P	オートコントロール アップ	背もたれと上脚部を同時に上げます
Q	オートコントロール ダウン	背もたれと上脚部を同時に下げます
R	トレンデレンブルグ位	本製品をトレンデレンブルグ位にします (頭部を低く、足を高くする)
S	逆トレンデレンブルグ位	本製品を逆トレンデレンブルグ位にします (頭部を高く、足を低くする)
T	患者立ち上がり補助	患者がベッドに出入りできるように、ボトムを低く下げ、上脚部を低く下げ、背もたれを持ち上げます

ベッド延長器を延ばす、または格納する

警告

- ベッド延長器の上に座らないでください。本製品の転倒を招くことがあります。
- ベッド延長器に体重をかける前に、必ずベッド延長器をロックしてください。

注意

- ベッド延長器を延ばした後でフットボードを取り外さないでください。
- ベッド延長器の使用中に、下脚部を上げないでください。本製品は、背の高い患者の下腿を支持できない場合があります。

ベッド延長器を使用するとベッドの長さを31cm長くすることができます。

ベッド延長器の伸展方法：

1. 黄色の各ノブを引いて 90度回し、ベッド延長器のロックを解除します (図 27)。
2. フットボードのハンドルを引いて、ベッド延長器を延ばします (図 28)。
3. 黄色のハンドルを90度回転させて、両側のノブをロックします。

注記 - フットボードを押したり引いたりし、ベッド延長器がロックされていることを確認します。

4. ベッドハンドリング用プラットフォームを引き抜きます (図 29)。
5. ベッド延長器用サポートサーフェイスをベッドハンドリング用プラットフォームに置きます。

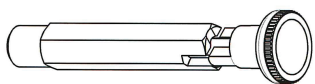


図 27 – ベッド延長器をロック解除する



図 28 – ベッド延長器を延ばす

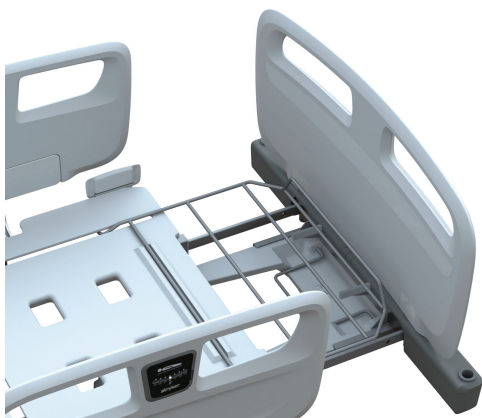


図 29 – ベッドハンドリング用プラットフォームを延ばす



図 30 – ベッドハンドリング用プラットフォームを格納する

ベッド延長器の格納方法：

1. ベッド延長器用サポートサーフェイスを取り外します。
2. ベッドハンドリング用プラットフォームを押します（図 30）。
3. 黄色の各ノブを引いて90度回し、ベッド延長器のロックを解除します。
4. フットボードのハンドルを押してベッド延長器を格納します。
5. 黄色のハンドルを90度回転させて、両側のノブをロックします。

注記 - フットボードを押したり引いたりし、ベッド延長器がロックされていることを確認します。

ベッド延長器用サポートサーフェイスの取り付け

サポートサーフェイスの仕様については、8002シリーズのサポートサーフェイスマニュアルをご覧ください。ベッド延長器の推奨サポートサーフェイスについては、「仕様(ページ7)」を参照してください。

ベッド延長器用サポートサーフェイスの取り付け方法：

1. を参照してください。ベッド延長器を延ばす、または格納する(ページ31)
2. ベッド延長器用サポートサーフェイスをサポートサーフェイスとフットボードの間に配置します。
3. ベッド延長器用サポートサーフェイスを押し下げて、サポートサーフェイスを固定します。

リネントレーを延ばす、または格納する (オプション)

リネントレー (オプション) は一体型収納ユニットで、患者の衣服、洗濯物、ナース用コントロールペンダントを収納できます。リネントレーは製品の足側端部に見つけることができます。

警告

- 製品を動かす前に、リネントレー (オプション) を必ず格納してください。
- 使用していない時は、リネントレー (オプション) を必ず格納してください。
- リネントレーにかかる荷重は、安全使用荷重である 15 kg を超えないでください。

リネントレーを延ばすには、プラスチック製のリネントレーをつかんで使用者の方向に引き出します。

リネントレーを格納するには、プラスチック製のリネントレーをつかんでフレーム内に押し入れます。



図 31 – ナース用コントロールペンダントを収納する

X線カセットホルダーにカセットを挿入する、または取り出す (オプション)

X線ガイド寸法 : 390 mm ± 30 mm x 590 mm ± 30 mm x 最大 16.5 mm

X線カセットの挿入方法 :

1. ヘッドボードを取り外す、または交換する (ページ 22) を参照してください。
2. X線カセットをX線カセットホルダー内にスライドさせるか、X線カセットを患者とサポートサーフェイスの間にスライドさせます。

注記

- 本製品の上で患者のX線画像を撮影すると、サポートサーフェイスの内部構成部品によってアーチファクトや画像の歪みが生じることがあります。配置方法は、サポートサーフェイスの操作マニュアルをご覧ください。
 - 放射線不透過性の背もたれでX線画像を撮影する場合は、X線カセットを患者とサポートサーフェイスの間にスライドさせます。
3. 患者を適切な位置に調整します。

X線カセットを取り出す :

1. X線カセットをスライドさせて、X線カセットホルダーまたは患者の下から出します。
2. ヘッドボードを取り外す、または交換する (ページ 22) を参照してください。

付属品と部品

これらの付属品と部品は、本製品と併用できる場合があります。本製品がお客様の構成または地域において利用可能かご確認ください。

品名	品番	安全使用荷重
点滴ポール (カーブ型)	MM069	フック1個につき2 kg
点滴ポール (ストレート型)	MM070	フック1個につき2 kg
尿バッグ用バスケット	MM029	4 kg
リフトポール	MM067	75 kg
縦型酸素ボンベホルダー (直径120 mm、長さ900 mm)	MM064	7.5 kg
縦型酸素ボンベホルダー (直径120 mm、長さ640 mm)	MM065	7.5 kg
縦型酸素ボンベホルダー (直径140 mm、長さ640 mm)	MM066	7.5 kg

点滴ポール (オプション) の取り付け

警告

- 患者の四肢や体の他の部分を支えるために、付属品を使用しないでください。
- 付属品が所定の位置に固定されていることを必ず確認してください。
- 点滴ポールは、押し引きする道具として使用しないでください。
- 点滴ポールに、フック1個につき2 kgの安全使用荷重を超える荷重をかけないでください。
- 付属品が、製品の機械的または電氣的構造に干渉しないようにしてください。

注意 - 移動中は、点滴ポールが低い高さにあることを必ず確認してください。

本製品の角にある4つの付属スリーブのいずれにでも、点滴ポールを挿し込むことができます。

点滴ポールは伸縮式のため、無段高さ調節により別の高さでも使用できます（図 32）。



図 32 – 点滴ポールの位置変更

点滴ポールのポジションを定めるには、点滴ポールを4つの付属スリーブのいずれかに挿し込みます（図 33）。



図 33 – 点滴ポールモデル

リフトポールの着脱

警告

- 患者の四肢や体の他の部分を支えるために、付属品を使用しないでください。
- 付属品が所定の位置に固定されていることを必ず確認してください。
- リフトポールを押したり引いたりするための道具として使用しないでください。
- リフトポールにかかる荷重は、安全使用荷重である75 kgを超えないでください。
- 付属品が、製品の機械的または電氣的構造に干渉しないようにしてください。

注意 - 製品を移動させる前にリフトポールを必ず取り外してください。

リフトポールは、本製品の頭側端部にある2つの付属スリーブのいずれにでも挿し込むことができます。

注記

- 本製品が逆角のポジションにある時は、リフトポールを使用しないでください。
- ヘッドボードが本製品に取り付けられていない時は、リフトポールを使用しないでください。

リフトポールは、患者がベッドの上で体位を変える時に役立ちます。

リフトポールの取り付け方法：

1. リフトボールを2つの付属スリーブのいずれかの中央に配置し、挿し込みます (図 34)。

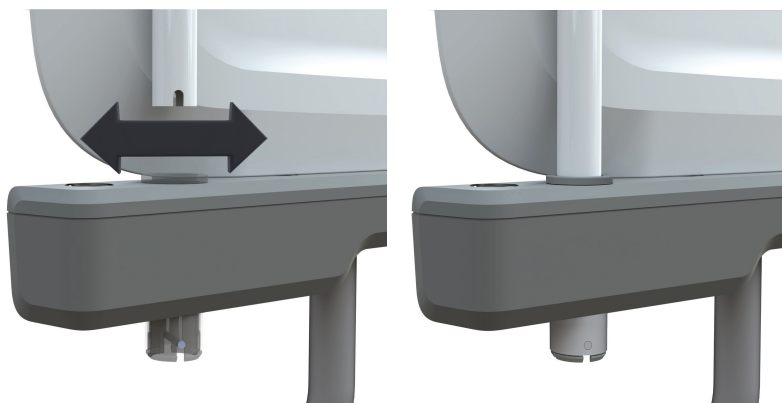


図 34 – リフトボールの着脱

2. リフトボールを回転させて付属スリーブに固定します。



図 35 – リフトポール、可動ヘッドボード (左) および固定ヘッドボード (右)

リフトポールのハンドルを取り付ける

リフトポールのハンドルを取り付けるには、リフトポールの黒色グリップを2つのストッパーの間に配置します (図 36)。



図 36 – リフトポールのハンドルを取り付ける

酸素ボンベホルダーを取り付ける

警告

- 患者の四肢や体の他の部分を支えるために、付属品を使用しないでください。
- 背もたれの下に酸素ボンベホルダーを取り付けしないでください。
- 付属品が所定の位置に固定されていることを必ず確認してください。
- 酸素ボンベホルダーは、押し引きする道具として使用しないでください。
- 患者を移動させる前に、必ず酸素ボンベホルダーを本製品側に入れてください。
- 患者を移動させる際に、酸素ボンベホルダーにぶつからないようにしてください。
- 付属品が、製品の機械的または電氣的構造に干渉しないようにしてください。
- 酸素ボンベホルダーに、7.5 kgの安全使用荷重を超える荷重をかけないでください。

酸素ポンペホルダーのサポートバーを、本製品の頭側端部と足側端部の両方にあるアクセサリースリーブに挿入します (図 37)。

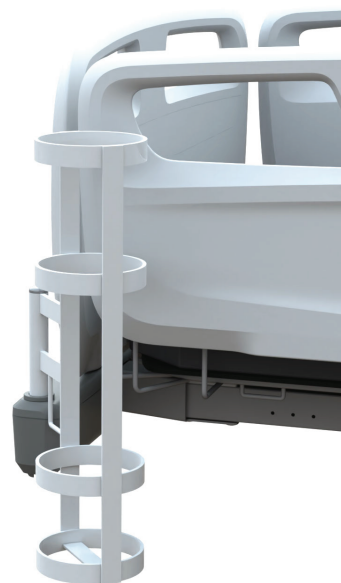


図 37 – 酸素ポンペホルダーを取り付ける

尿バッグ用バスケットの取り付け

警告

- 患者の四肢や体の他の部分を支えるために、付属品を使用しないでください。
- 尿バッグ用フックに、2 kgの安全使用荷重を超える荷重をかけないでください。
- 尿バッグ用バスケットに、4 kgの安全使用荷重を超える荷重をかけないでください。
- 付属品が、製品の機械的または電氣的構造に干渉しないようにしてください。

尿バッグ用バスケットを取り付けるには、バスケットを尿バッグ用フックに引っ掛けます (図 38)。

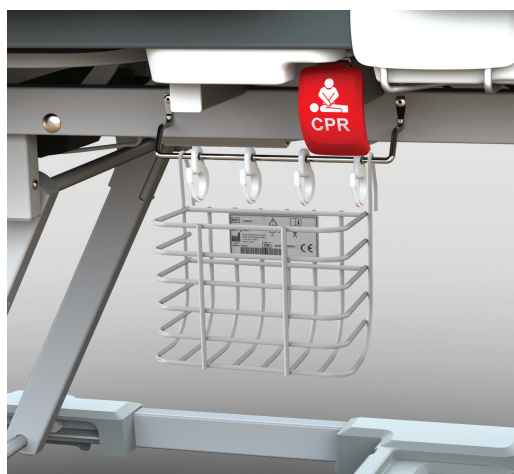


図 38 – 尿バッグ用バスケットの取り付け

洗浄

製品清掃の準備を行う

注意 - 目に見える汚れがある透過物質に皮膚が直接接触すると、感染のリスクが高くなる場合があります。

洗浄と消毒は異なる2つのプロセスです。消毒の前に洗浄を行い、洗浄剤の効果があることを確認します。

製品洗浄の準備を行う：

1. ボトムを一番高い位置まで持ち上げます。
2. サイドレール コントロールパネルおよび患者用コントロールペンダント機能をロックします。患者の機能をロックするには、「介助者コントロールパネル、外側サイドレール (ページ25)」を参照してください。
3. 壁コンセントから電源プラグを抜きます。
4. ブレーキをかけるには、「ブレーキをかける、または解除する (ページ19)」を参照してください。
5. サポートサーフェイスを取り除きます。

クリーニング

警告

- 製品の使用中は、洗浄、保守、メンテナンスを行わないでください。
- 清掃、保守、メンテナンスの実施前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。
- サークットボード、ケーブル、モーターの近くで大量に液体がこぼれた場合は、必ず製品の電源を切り、電源コードを壁のアウトレットから抜いてください。ベッドから患者を移動させて液体を掃除し、保守担当者に製品の点検を行ってもらいます。液体は、電気製品の予期しない動作や機能性の低下を引き起こすことがあります。ベッドが完全に乾き、安全な操作が可能なが十分なテストで証明されるまでは、絶対に製品の使用を再開しないでください。
- バッテリー、コントロールボックス、アクチュエーター、ケーブル、その他の電気機器に洗浄液を直接噴霧しないでください。
- 研磨剤、スチールウール、または製品の表面を傷つける可能性がある同様のものを使わないでください。
- 製品の消毒にVirex® TBを使用しないでください。
- ガソリン、ディーゼル、アセトンなど、清掃の目的で酸塩基または可燃性の薬品を使用しないでください。
- サイドレール コントロールパネル、患者用コントロールペンダント、ナース用コントロールペンダントに洗浄剤を直接噴霧したり、染みこませないでください。
- 洗浄剤や消毒剤は、高いアルカリ性または酸性であってはなりません (pH値6~8でなければなりません) 。

注意

- 製品のいずれの部分も、蒸気洗浄、高圧洗浄、超音波洗浄、または水に浸すことはしないでください。水が触れると内部の電気部品が損傷することがあります。これらの清掃方法は推奨される方法ではなく、製品保証が無効になる場合があります。
- 必ず清浄水をつけた布で各製品を拭き、洗浄後はしっかりと乾かしてください。洗浄剤の中には腐食性のものもあり、不適切に使用すると製品が損傷する場合があります。適切にすすぎと乾燥を行わないと、製品の表面に腐食性残留物が残り、重要な部品に早発性腐食が生じる恐れがあります。これらの洗浄手順に従わないと保証が無効になる場合があります。

製品表面を清掃する：

1. 清潔で柔らかい湿った布を使用して、刺激の少ない石けんと水溶液で製品表面を拭き、異物を取り除きます。
2. 清潔な乾いた布で製品の表面を拭いて、余分な液体や洗浄剤を取り除いてください。
3. 完全に乾かします。

サイドレールを清掃する

警告

- サイドレール コントロールパネル、患者用コントロールペンダント、ナース用コントロールペンダントに洗浄剤を直接噴霧したり、染みこませないでください。
 - サイドレール コントロールパネルを鋭利なものを使って清掃しないでください。
 - 研磨剤、スチールウール、または製品の表面を傷つける可能性がある同様のものを使わないでください。
 - 製品の洗浄にVirex® TB を使用しないでください。
 - ガソリン、ディーゼル、アセトンなど、清掃の目的で酸塩基または可燃性の薬品を使用しないでください。
-

サイドレールを清掃する：

1. サイドレールを上げます。
2. サイドレールをラッチで固定します。
3. 清潔で柔らかい湿らせた布を使って、サイドレールとサイドレール コントロールパネルを拭きます。
4. サイドレール コントロールパネルは完全に乾かしてください。

消毒

推奨される消毒剤：

- グリコール・エーテルを含有しない第四級物質（有効成分-塩化アンモニウム）
- 塩素系漂白剤溶液（5.25% - 水100に対して漂白剤1未満）
- 70%イソプロピルアルコール

適切な接触時間およびすぎの要件に関しては、消毒剤の取り扱い指示に必ず従ってください。

過度の浸漬は避け、正しい消毒に関する化学洗剤メーカーのガイドラインの規定を超える時間、製品を浸漬しないようにします。

製品を消毒する：

1. 消毒剤を使用する前に、製品を完全に洗浄して乾かします。
2. 推奨の消毒剤溶液を噴霧するか、消毒剤溶液をあらかじめ湿らせた布で塗布します。

注記 - 適切な接触時間およびすぎの要件に関しては、消毒剤の取り扱い指示に必ず従ってください。

3. 構造部を消毒するには、背もたれとレッグレストを一番高い高さまで持ち上げます。
4. 清潔な乾いた布で製品の表面および構造部を拭いて、余分な液体や洗浄剤を取り除いてください。
5. 使用を再開する前に、製品を完全に乾燥させます。

予防保守

ユーザーが本製品の予防保守点検を行う前は、使用を控えてください。Stryker Medicalの全製品については、年次予防保守を行う際、記載されている全項目を確認してください。製品の使用頻度によって、予防保守点検の回数を多くする必要があります。保守は有資格者のみが行ってください。

注記 - 適宜、点検の前にサポートサーフェイスの外装をクリーニング・消毒します。

以下の項目を点検します：

- _____ 固定具がすべて固定されていること
- _____ ブレーキペダルを踏むとすべてのキャストがロックされ、本製品を押しても動かない
- _____ ブレーキをかけると頭側端部サイドレールのブレーキインジケーターが点灯する
- _____ ステアリングキャストのロックとロック解除（第5輪がない場合のみ）
- _____ サイドレールを動かすことができ、ラッチがかかり、格納できる
- _____ 背もたれ両側のCPRリリースが使用可能
- _____ 点滴ポールに損傷がなく使用できる状態である
- _____ 尿バッグ用フックに損傷がない
- _____ ヘッドボード、フットボード、およびサイドレールパネルに亀裂や割れがない
- _____ フレームの損傷がない
- _____ サポートサーフェイスカバーに破れや亀裂がない
- _____ 頭側端部サイドレールの全機能が使用可能
- _____ 常夜灯が常に点灯している
- _____ 主電源コンセントコードとプラグにほころびや損傷がない
- _____ ケーブルに磨耗やつぶれがない
- _____ 電気接続がすべてきっちりと繋がっている
- _____ アースがすべてフレームに接続している
- _____ 接地インピーダンスを確認（ $\leq 0.2 \text{ Ohm}$ ）
- _____ 漏れ電流：正磁極、非接地、L2アクティブ [$\leq 300 \mu\text{A}$ （マイクロアンペア）]
- _____ 漏れ電流：正磁極、非接地、L2なし [$\leq 600 \mu\text{A}$ （マイクロアンペア）]
- _____ 漏れ電流：逆磁極、非接地、L2アクティブ [$\leq 300 \mu\text{A}$ （マイクロアンペア）]
- _____ 漏れ電流：逆磁極、非接地、L2なし [$\leq 600 \mu\text{A}$ （マイクロアンペア）]
- _____ 背もたれの角度精度は $0^\circ \sim 65^\circ$ である
- _____ サイドレールコントロールのラベル表示に劣化がない
- _____ 背もたれのダンパーにオイル漏れがない
- _____ すべての動作が機能する
- _____ 足側端部と頭側端部のボトムバンパーに損傷や破損がない
- _____ バッテリーの機能をチェックする

製品シリアル番号：
記入者：
日付：

EMCに関する情報

警告

- アンテナケーブルや外部アンテナなどの周辺機器を含め、移動式RF無線機器をProCeed (製造業者が指定するケーブルを含む) から30 cm (12インチ)以内の距離で使用しないでください。これに従わないと、本装置の性能が劣化する可能性があります。
- 製品の誤作動を防ぐため、本機器を他の機器の近くでまたは他の機器と重ねて使用しないでください。このようにして使用する必要がある場合は、本機器およびその他の機器を注意深く観察して、それらの機器が適切に作動していることを確認してください。
- 本機器の製造業者が指定または供給するもの以外の付属品、トランスデューサーおよびケーブルを使用すると、電磁エミッションの上昇や電磁イミュニティの低下が生じ、その結果誤作動が起こる可能性があります。

ProCeedベッドシリーズの評価には、以下のケーブルが使用されました。

ケーブル	長さ (m)
AC主電源 入力ケーブル	2.5
ペンダント	5.3

ガイダンスおよび製造業者による宣言-電磁エミッション

ProCeedベッドシリーズは、以下に示す電磁環境での使用を目的としています。ProCeedベッドシリーズのお客様/ユーザーには、このような環境で使用されることを確認していただく必要があります。

エミッション試験	適合	電磁環境
RFエミッション CISPR 11	グループ1	注記 - 本機器は、そのエミッション特性のため、工場環境および病院での使用に適しています (CISPR 11 クラスA)。住居環境 (CISPR 11クラスBが通常必要とされる環境) で使用される場合、この機器は無線周波数通信サービスを適切に保護できないおそれがあります。ユーザーは、機器の再配置や方向変更などの緩和策を講じる必要があるかもしれません。
RFエミッション CISPR 11	クラスA	
高周波エミッション IEC 61000-3-2	クラスA	
電圧変動 フリッカエミッション IEC 61000-3-3	適合	

ガイダンスおよび製造業者による宣言-電磁イミュニティ

ProCeedベッドシリーズは、プロの医療施設環境での使用に適していますが、高周波 (HF) 外科用機器や磁気共鳴画像 (MRI) 機器の無線周波数 (RF) シールドルームの内部などは、製品評価に用いられるイミュニティ試験条件を超える環境のため、使用には適していません。ProCeedベッドシリーズのお客様/ユーザーは、本製品が適切な環境で使用され、以下にリストされている電磁環境ガイダンスに従っていることを確認する必要があります。

イミュニティ試験	IEC 60601試験レベル	適合レベル	電磁環境-ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV (接触放電) ±15 kV (気中放電)	±8 kV (接触放電) ±15 kV (気中放電)	床は、木材、コンクリートまたはセラミックタイルであること。床が合成材料で覆われている場合には、相対湿度は最低30%であること。
電氣的ファストトランジェント/バースト IEC 61000-4-4	±2 kV (電源ライン) ±1 kV (入出力ライン)	±2 kV (電源ライン) ±1 kV (入出力ライン)	電源電力品質は、典型的な商用または病院環境のものであること。
サージ IEC 61000-4-5	±0.5 kV、±1 kV ラインからライン ±0.5 kV、±1 kV、±2 kV ラインから接地	±0.5 kV、±1 kV ラインからライン ±0.5 kV、±1 kV、±2 kV ラインから接地	電源電力品質は、典型的な商用または病院環境のものであること。

ガイドンスおよび製造業者による宣言-電磁イミュニティ			
電源入カラインでの電圧 ディップ、電圧変動および 短時間停電 IEC 61000-4-11	0% U_T 、0.5サイクル間、 0°、45°、90°、135°、 180°、225°、270°、および 315° 0% U_T 、1サイクル間 70% U_T (30% U_T のディッ プ)、25/30サイクル間 0% U_T 、250/300サイクル間	0% U_T 、0.5サイクル間、 0°、45°、90°、135°、 180°、225°、270°、および 315° 0% U_T 、1サイクル間 70% U_T (30% U_T のディッ プ)、25/30サイクル間 0% U_T 、250/300サイクル間	電源電力品質は、典型的な 商用または病院環境のもの であること。停電中でも ProCeed ベッドシリーズを 継続して操作する必要がある 場合は、本機器への電力 供給は無停電電源または バッテリーを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁 界 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電源周波数磁界は、典型的 な商用または病院環境内の 典型的な場所でのレベルに あること。
注記 - U_T は、試験レベルを適用する前の交流電源圧です。			

伝導RF IEC 61000- 4-6 放射RF IEC 61000-4-3	3 Vrms ISM周波数帯で6 Vrms 150 kHz ~ 80 MHz 3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz	3 Vrms ISM周波数帯で6 Vrms 3 V/m	携帯型および移動型RF通信機器は、「携帯型および移動型RF通信機器とProCeedベッドシリーズ間の推奨分離距離」というタイトルの表のガイダンスに従う必要があります 移動無線サービスが表に記載されていない場合、推奨分離距離は、送信機の周波数に適した式から計算する必要があります。 推奨分離距離 $D = (2) (\sqrt{P})$ ここでPは、送信機製造業者によるワット (W) で示した送信機の最大定格出力電力であり、dは、メートル (m) で示した推奨分離距離を指します。 実使用環境の調査によって決定する固定RF送信機からの電磁界強度は^a各周波数範囲における適合レベル^bよりも低いこと。 以下の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が生じることがあります： 
--	--	--	--

注記 - ここに示すガイドラインは、すべての状況で適用されるとは限りません。電磁伝搬は、建造物、物、人による吸収および反射に影響されます。

注記 - 0.15 ~ 80 MHzのISM (産業、科学、および医療) 周波数帯域では、6.765 ~ 6.795 MHz、13.553 ~ 13.567 MHz、26.957 ~ 27.283 MHz、および40.66 ~ 40.70 MHzです。

^a無線 (携帯/コードレス) 電話や陸上移動無線、アマチュア無線、AM/FMラジオ放送、テレビ放送を始めとする基地局などの固定送信機の電界強度を、理論上正確に予測することは不可能です。固定された無線周波送信機による電磁環境を評価するには、電磁環境の実使用環境調査の実施を検討する必要があります。ProCeedベッドシリーズが使用されている場所での電界強度計測値が上記の該当するRF適合レベルを超える場合、ProCeedベッドシリーズを観察して正常な動作を検証する必要があります。異常動作が確認された場合には、ProCeedベッドシリーズの再設定または再配置などの追加措置が必要になることがあります。

^b150 kHz ~ 80 MHzの周波数帯域において、電界強度は3 Vrms未満とします。

携帯型および移動型RF通信機器とProCeedベッドシリーズ間の推奨分離距離

ProCeedベッドシリーズは、放射RF妨害が制御された電磁環境での使用を目的としています。ProCeedベッドシリーズのお客様/ユーザーは、以下に推奨されるケーブルを含む携帯型および移動型RF通信機器 (送信機) とProCeedベッドシリーズ間の最小距離を通信機器の最大出力電力に応じて保つことで、電磁妨害を防ぐことができます。

周波数帯 (MHz)	保守	最大電力 (W)	最小分離距離 (m)
380 ~ 390	TETRA 400	1.8	0.3
430 ~ 470	GMRS 460 ; FRS 460	2.0	0.3

携帯型および移動型RF通信機器とProCeedベッドシリーズ間の推奨分離距離			
704 ~ 787	LTE周波数帯13、17	0.2	0.3
800 ~ 960	GSM 800/900 ; TETRA 800 ; iDEN 820 ; CDMA 850 ; LTE周波数帯5	2.0	0.3
1,700 ~ 1,990	GSM 1800 ; CDMA 1900 ; GSM 1900 ; DECT ; LTE周波数帯1、3、4、 25 ; UMTS	2.0	0.3
2,400 ~ 2,570	Bluetooth ; WLAN ; 802.11 b/g/n ; RFID 2450 ; LTE周波数帯7	2.0	0.3
5,100 ~ 5,800	WLAN 802.11 a/n	0.2	0.3
上記に記載していない最大定格出力電力の送信機に関して、メートル(m)で表示した推奨分離距離dは、送信機の周波数に対応する方程式を用いて計算できます。ここで、Pとは、送信機の製造業者によるワット(W)で示した送信機の最大定格出力電力を意味します。 注記 - ここに示すガイドラインは、すべての状況で適用されるとは限りません。電磁伝搬は、建造物、物、人による吸収および反射に影響されます。			

試験周波数	変調	イミュニティ試験レベル (A/m)
134.2 kHz	パルス変調 ^{b)} 2.1 kHz	65 ^{c)}
13.56 MHz	パルス変調 ^{b)} 50 kHz	7.5 ^{c)}
^{b)} 搬送波は、50%デューティサイクルの方形波信号を使用して変調されます。 ^{c)} 変調が適用される前のRMS値。		



Stryker EMEA Supply Chain Services B. V.
Frans Maasweg 2
Venlo 5928 SB, The Netherlands



Stryker Corporation or its divisions or other corporate affiliated entities own, use or have applied for the following trademarks or service marks: **ProCeed**, **Steer-Lock**, **Stryker**. All other trademarks are trademarks of their respective owners or holders.



Stryker Medical
3800 E. Centre Avenue
Portage, MI 49002
USA